

学校法人

関西大学総合案内 2020



関西大学
KANSAI UNIVERSITY



P2-3	関西大学のあゆみ
P4-5	設置学校 関西大学 関西大学第一中学校・第一高等学校 関西大学北陽中学校・北陽高等学校 関西大学初等部・中等部・高等部 関西大学幼稚園
P6-7	学部 法学部 文学部 経済学部 商学部 社会学部 政策創造学部 外国語学部 人間健康学部 総合情報学部 社会安全学部 システム理工学部 環境都市工学部 化学生命工学部
P8-9	大学院・留学生別科 法学研究科 文学研究科 経済学研究科 商学研究科 社会学研究科 総合情報学研究科 理工学研究科 外国語教育学研究科 心理学研究科 社会安全研究科 東アジア文化研究科 ガバナンス研究科 人間健康研究科 法科大学院 会計専門職大学院 留学生別科
P10-13	教育・研究 教育推進部 研究推進部 東西学術研究所 経済・政治研究所 先端科学技術推進機構 法学研究所 ソシオネットワーク戦略研究機構 人権問題研究室 総合図書館 関西大学博物館 ITセンター(インフォメーションテクノロジーセンター)
P14	社会連携 社会連携部
P15	都心部での展開 梅田キャンパス “KANDAI Me RISE” 東京センター
P16-19	学生生活 学生センター キャリアセンター エクステンション・リードセンター(KUEx) 学生相談・支援センター 保健管理センター 入試センター ラーニング・コモンズ 学生寮 セミナーハウス
P20-22	グローバル人材育成 国際部
P23	校友会・教育後援会 関西大学校友会 関西大学教育後援会
P24	事務組織図
P25	規模の推移
P26-27	キャンパス案内

～学校法人関西大学の長期ビジョン～



未来を問い、そして挑戦する。

学園の理念（普遍的理念）

建学の精神 正義を権力より護れ

学 是 学の実化

学理と実際との調和、国際的精神の涵養、
外国語学習の必要、体育の奨励

今日的に解釈し
将来像として提示

全体の将来像：めざすべき関大人像・めざすべき学園像（20年：2017～2036年）

<テーマ>

「多様性の時代を、関西大学はいかに生き抜き、先導すべきか」

《サブテーマ》

教 育

変化を続ける社会に、関西大学はいかなる

人材を送り出すべきか。

研 究

学の真価を問われる時代に、関西大学は

どんな知を提示できるか。

社会貢献

社会貢献のあり方において、「関大らしさ」は

どこにあるか。

組織運営

より柔軟で堅牢な組織となるために、

関西大学はどう変わるべきか。

各分野の政策目標（10年：2017～2026年）

政策目標の8つの分野： ❶教育(大学・大学院) ❷教育(併設校) ❸研究・社会連携 ❹国際化

❺学生の受入れ ❻学生支援 ❼就職・キャリア ❽組織運営

それは、ひとつの法律学校からはじまった。



関西法律学校創立者の群像

関西大学の前身である関西法律学校は、1886(明治19)年11月4日、大阪控訴院長児島惟謙や、初代校主となる吉田一士ら12人の創立者によって大阪西区京町堀の願宗寺において開校した。このころ明治政府は、国会開設をはじめ、憲法の制定や条約改正を差し迫った課題としていた。そのためにも、法曹の育成が急務とされていたのである。

明治政府から招へいされたフランス人法学者ポアソナードの教えを受けた井上操ら、大阪控訴院・大阪始審裁判所の判事や検事が講師となり、多忙な公務の合間をぬって法学の普及に努めた結果、誕生したのが本学の前身、関西法律学校であった。

関西法律学校の生徒募集広告が新聞紙上で発表されると、400余人もの入学志願者が殺到した。

広く内外の法律および経済学を教授された卒業生は、第1回目から多数の判事、検事および代言人(弁護士)となる。

これが、わが関西大学のルーツである。



山岡順太郎
(総理事・第11代学長)

1922(大正11)年、千里山に学舎を新設。法学部と商学部の2学部をもつ大学として認可される。総理事兼学長となった山岡順太郎は、新しい大学の指導理念として「学の実化(じつげ)」「(「学理と実際の調和」をモットーとする)を提唱した。1947(昭和22)年、岩崎卯一は関大出身者として最初の学長に就任し、「学生諸君に告ぐ」と題して次のように述べ、学生たちを鼓舞した。「われらの関西大学は、いま文化的ルネサンスのあけぼのを迎えんとしている。(中略)関大ルネサンスの中核は何ものであるか。(中略)真理の探求にのみ全生命を賭して悔いざるわれら学徒は、いかなる種類の権力のむちにも、あえて闘争する熱意と勇気とを固く把持せねばならぬ。これのみが関大の誇りであり、学風であらねばならぬ」。翌年4月から、本学は全国にさきかけて新制大学に転換した。第1部・第2部とも法・文・経済・商の4学部(男女共学)となった。



岩崎卯一
(第17代、19代、20代学長)

学歌

服部嘉春 作詞
山田耕柁 作曲

(一) 自然の秀麗 人の親和
たぐいなき 此の学園
我等立つ 人生の曙に
燦たる理想 仰ぎつつ
学ぶは途 純正の
若き心に 讃えなん
関西大学 関西大学
関西大学 長き歴史

(二) 真理の討究 学の実化
たぐいなき 此の学園
我等有つ 激刺の精神に
榮ある文化 創るべく
励むは途 研鑽の
日々を楽しみ 忘れまじ
関西大学 関西大学
関西大学 重き使命

(三) 自由の尊重 自治の訓練
たぐいなき 此の学園
我等期す 人格の向上に
正義の奉仕 世に為すと
希うは途 先進の
歩みきたかに 伝えばや
関西大学 関西大学
関西大学 高き権威

Since 1886

- 1886(明治19)年
大阪西区京町堀の願宗寺において関西法律学校を開校
法学者ポアソナードの薫陶を受けた司法官の井上操、小倉久、堀田正忠らが吉田一士とともに設立
大阪東区淡路町に校舎を移転
- 1887(明治20)年
大阪北区河内町の興正寺に移転
- 1903(明治36)年
大阪市西区江戸堀に2階建校舎を新築
- 1904(明治37)年
経済学科を増設
- 1905(明治38)年
「私立関西大学」と改組・改称
大学科、大学予科および専門科(いずれも法律、経済の2学科)を設置
- 1906(明治39)年
商業学科を増設
大阪市北区上福島に福島学舎を建設し、移転
- 1913(大正2)年
関西甲種商業学校(現・関西大学第一高等学校)を開校
- 1922(大正11)年
千里山に学舎を新設
大学令による関西大学として認可され、法学部、商学部と大学予科を設置
学歌を制定
- 1924(大正13)年
専門部に文学科を設置
- 1926(大正15)年
第1回大学祭を開催
- 1929(昭和4)年
大阪市大淀区長柄に天六学舎を新設し、福島学舎から専門部を移転
大学院を開設
- 1947(昭和22)年
関西大学第一中学校を開校
「関大ルネサンス」宣言。戦後の混乱期の中、岩崎卯一学長が大学再建の指導理念を提唱
- 1948(昭和23)年
新制大学に移行、法・文・経済・商の4学部(第1部・第2部)を設置
関西大学付属第一高等学校を開校
- 1950(昭和25)年
新制大学院を法学、文学、経済学の3研究科で設置
- 1951(昭和26)年
関西大学幼稚園を開園
東西学術研究所を開設
- 1952(昭和27)年
関西大学付属第一高等学校を関西大学第一高等学校に改称
- 1953(昭和28)年
第2部全学舎を天六学舎へ移転
第一高等学校を天六学舎から千里山学舎へ移転
- 1957(昭和32)年
第一中学校を天六学舎から千里山学舎へ移転
- 1958(昭和33)年
工学部を設置
経済・政治研究所を開設
- 1960(昭和35)年
工学部を天六学舎から千里山学舎へ移転
- 1962(昭和37)年
大学院商学研究科、工学研究科を設置
- 1964(昭和39)年
工業技術研究所を開設(2002年先端科学技術推進機構に改組)
- 1967(昭和42)年
社会学部を設置
- 1971(昭和46)年
大学院社会学研究科を設置
電子計算機室を開設
- 1974(昭和49)年
部落問題研究室を開設(1985年人権問題研究室に改組)

- 1982(昭和57)年
電子計算機室を情報処理センターに改称
(1985年総合図書館・情報処理センターへ移転)
- 1984(昭和59)年
総合図書館・情報処理センターが竣成
- 1986(昭和61)年
創立100周年記念式典を挙行
- 1987(昭和62)年
法学研究所を開設
- 1989(平成元)年
国際交流センターを開設(2008年国際部に改組)
100周年記念会館が竣成
- 1994(平成6)年
高槻キャンパスを開設し、総合情報学部を設置
第2部全学舎を千里山キャンパスへ移転
関西大学博物館を開館
- 1997(平成9)年
エクステンション・リードセンターを開設
- 1998(平成10)年
大学院総合情報学研究科を設置
- 2000(平成12)年
外国語教育研究機構を設置(2009年外国語学部に変更)
- 2002(平成14)年
大学院外国語教育学研究科を設置
- 2003(平成15)年
第1部・第2部制を廃止し、昼夜開講制を導入
- 2004(平成16)年
法科大学院を設置
情報処理センターを円神館へ移転し、ITセンターに改称
- 2006(平成18)年
総合学生会館メディアパーク凜風館が竣成
会計専門職大学院を設置
関西大学アイスアリーナ(現関西大学 たかつき アイスアリーナ)が竣成
創立120周年記念式典を挙行
- 2007(平成19)年
政策創造学部を設置
工学部をシステム理工学部、環境都市工学部、化学生命工学部に改組
- 2008(平成20)年
関西大学北陽高等学校を開校
大学院心理学研究科を設置
ソシオネットワーク戦略研究機構を開設
- 2009(平成21)年
外国語学部、臨床心理専門職大学院(2020年度から募集停止)を設置
工学研究科を理工学研究科に改称
- 2010(平成22)年
高槻ミューズキャンパスを開設し、社会安全学部と大学院社会安全研究科を設置、同キャンパスに関西大学初等部・中等部・高等部を開校
堺キャンパスを開設し、人間健康学部を設置
関西大学北陽中学校を開校
- 2011(平成23)年
大学院東アジア文化研究科とガバナンス研究科を設置
- 2012(平成24)年
南千里国際プラザを開設し、留学生別科を設置
- 2013(平成25)年
第一高等学校・第一中学校創立100周年記念式典を挙行
- 2014(平成26)年
大学院人間健康研究科を設置
天六キャンパス閉鎖
- 2015(平成27)年
連合教職大学院(大阪教育大学大学院連合教職実践研究科)が設置され、連合参加大学として参画
- 2016(平成28)年
梅田キャンパスを開設
イノベーション創生センターを開設
なにわ大阪研究センターを開設
創立130周年記念式典を挙行

年史資料展示室

千里山キャンパスの年史資料展示室では、1886(明治19)年の関西法律学校の設立から、130年を迎えた関西大学のあゆみを、写真パネルやビデオによって、分かりやすく展示しています。
また、2020年度企画展は「学生スポーツの歴史」をテーマに開催します。



関西大学

変革の時代に求められる大学を、学部・大学院での教育を通して具現化。有用な人材と人類文化の担い手を養成します。

高度化・複雑化が増すばかりの現代にあって、社会環境の変化に即応し、総合的なものごとを検証できる広い視野と判断できる健全な価値観の育成が本学教育の目的です。「学理と実際の調和」を教育理念に、各学部では本質の理解と十分な基礎力の蓄積、問題解決につながる応用力と柔軟な思考力の醸成を推進。情報化・国際化に対応する新しいリテラシーの獲得、実験・実習やディベートなどの

実践的なカリキュラムによって、真に有用な人材の育成に力を注いでいます。 本学は現在、13の学部と13の大学院研究科、2つの専門職大学院、1つの別科を擁する総合大学であり、世界各地からの留学生を含め、約3万人が在籍しています。2016年に創立130周年を迎えた本学は、さらなる発展に向け、常に躍動する、活気のある大学として邁進しています。

学部	法学部	法学政治学科		入学定員	所在地
	文学部	総合人文学科	英米文学英語学専修 英米文化専修 国語国文学専修 哲学倫理学専修 比較宗教学専修 芸術学美術史専修 フランス学専修 ドイツ学専修 日本史・文化遺産学専修 世界史専修 地理学・地域環境学専修 中国学専修 教育文化専修 初等教育学専修 心理学専修 情報文化学専修 映像文化専修 文化共生学専修 アジア文化専修	715	千里山キャンパス
	経済学部	経済学科	経済理論専修 金融・会計専修 公共経済専修 歴史・社会専修 産業・企業経済専修 国際経済専修 統計・情報処理専修	770	
	商学部	商学科	流通専修 ファイナンス専修 国際ビジネス専修 マネジメント専修 会計専修	726	
	社会学部	社会学科	社会学専攻 / 心理学専攻 / メディア専攻 / 社会システムデザイン専攻	792	
	政策創造学部	政策学科	国際政治経済専修 政治・政策専修 地域・行政専修 組織・経営専修	270	
		国際アジア法政策学科		80	
	外国語学部	外国語学科		165	
	人間健康学部	人間健康学科		330	堺キャンパス
	総合情報学部	総合情報学科		500	高槻キャンパス
社会安全学部	安全マネジメント学科		275	高槻ミューズキャンパス	
システム理工学部	数学科 / 物理・応用物理学科 / 機械工学科 / 電気電子情報工学科		501	千里山キャンパス	
環境都市工学部	建築学科 / 都市システム工学科 / エネルギー・環境工学科		325		
化学生命工学部	化学・物質工学科 / 生命・生物工学科		347		
大学院	法学研究科	博士課程前期課程	法学・政治学専攻	50	千里山キャンパス
		博士課程後期課程	法学・政治学専攻	10	
	文学研究科	博士課程前期課程	総合人文学専攻	英米文学英語学専修 英米文化専修 国文学専修 哲学専修 芸術学美術史専修 日本史学専修 世界史学専修 ドイツ文学専修 フランス文学専修 中国文学専修 地理学専修 教育学専修 文化共生学専修 映像文化専修	96
		博士課程後期課程	総合人文学専攻	英米文学英語学専修 国文学専修 哲学専修 史学専修 ドイツ文学専修 フランス文学専修 中国文学専修 地理学専修 教育学専修	19
	経済学研究科	博士課程前期課程	経済学専攻	45	
		博士課程後期課程	経済学専攻	5	
	商学研究科	博士課程前期課程	商学専攻	35	
		博士課程後期課程	商学専攻	5	
	社会学研究科	博士課程前期課程	社会学専攻 / 社会システムデザイン専攻 / マス・コミュニケーション学専攻	30	
		博士課程後期課程	社会学専攻 / 社会システムデザイン専攻 / マス・コミュニケーション学専攻	9	
	総合情報学研究科	博士課程前期課程	社会情報学専攻 / 知識情報学専攻	80	高槻キャンパス
		博士課程後期課程	総合情報学専攻	8	
	理工学研究科	博士課程前期課程	システム理工学専攻 環境都市工学専攻 化学生命工学専攻	数学分野 物理・応用物理学分野 機械工学分野 電気電子情報工学分野 建築学分野 都市システム工学分野 エネルギー・環境工学分野 化学・物質工学分野 生命・生物工学分野	275
		博士課程後期課程	総合理工学専攻	数学分野 物理・応用物理学分野 機械工学分野 電気電子情報工学分野 建築学分野 都市システム工学分野 エネルギー・環境工学分野 化学・物質工学分野 生命・生物工学分野	57
	外国語教育学研究科	博士課程前期課程	外国語教育学専攻	25	千里山キャンパス
		博士課程後期課程	外国語教育学専攻	3	
	心理学研究科	博士課程前期課程	心理学専攻 / 心理臨床学専攻	27	
		博士課程後期課程	心理学専攻	6	
	社会安全研究科	博士課程前期課程	防災・減災専攻	15	高槻ミューズキャンパス
		博士課程後期課程	防災・減災専攻	5	
	東アジア文化研究科	博士課程前期課程	文化交渉学専攻	12	千里山キャンパス
		博士課程後期課程	文化交渉学専攻	6	
	ガバナンス研究科	博士課程前期課程	ガバナンス専攻	15	
		博士課程後期課程	ガバナンス専攻	3	
	人間健康研究科	博士課程前期課程	人間健康専攻	10	堺キャンパス
		博士課程後期課程	人間健康専攻	3	
	法務研究科 (法科大学院)	専門職学位課程	法曹養成専攻	40	千里山キャンパス
	会計研究科 (会計専門職大学院)	専門職学位課程	会計人養成専攻	40	
別科	留学生別科	日本語・日本文化教育プログラム進学コース		100	南千里国際プラザ

関西大学第一中学校・第一高等学校

幅広い進路選択が可能な環境の中、豊かな人間性を備えた社会に有為な人材を育成します。

関西大学第一中学校・関西大学第一高等学校は、関西大学までの一貫教育を基軸に据え、大学と連携協力し、生徒一人ひとりを大切に育てます。さらに、各人の多様な個性を尊重し、キャリア教育を進め、将来は自立して市民社会に貢献できる「考動」する人材の育成をめざしています。また本校は2013年に創立100周年を迎えました。今後も大学併設校ならではのゆとりを自分の人生の大切な時間ととらえ、充実した学園生活を送れるよう支援します。



〒564-0073 大阪府吹田市山手町3-3-24

関西大学北陽中学校・北陽高等学校

「知育・徳育・体育の調和のとれた人間形成」を建学の精神とし、生徒の個性や能力を最大限に伸ばします。

2008年4月に生まれ変わった関西大学北陽高等学校に加え、2010年4月には関西大学北陽中学校を開校しました。阪急「上新庄」駅を最寄り駅とした、アクセスに恵まれたロケーションを最大限に活かしながら、関西大学北陽中学校・北陽高等学校では、生徒一人ひとりの個性や能力を最大限に伸ばすことを大切にしています。その上で、真に社会の中核として活躍する人間を育成するため、知性と教養、他者とともに生きる力を身につけた、人間性豊かな個の育成を中高一貫教育のもとで行っています。



〒533-0006 大阪府大阪市東淀川区上新庄1-3-26

関西大学初等部・中等部・高等部

初等部から高等部までの一貫教育の中で、「確かな学力」「国際理解力」「情感豊かな心」「健やかな体」の四つの力を育み、「高い人間力」を持つ人材を育成します。

関西大学初等部・中等部・高等部では「思考力の育成」や「探究する力」を養い、単なる詰め込み型ではない確かな学力を身につけます。また、自ら主体的に社会課題に取り組み、解決へと導く力をつけ、実際に社会で応用できるよう12年間で育成します。 また、高等部は2014年度から2018年度までの5年間、文部科学省より「スーパーグローバルハイスクール（SGH）」の指定を受けました。その経験を活かし、より質の高い環境で、グローバルな課題に対応できる力を身につけ、広く世界で活躍できる人材を育成します。



〒569-1098 大阪府高槻市白梅町7-1

関西大学幼稚園

人としての礎を築く大切な幼児期。自然環境・人的環境・物的環境の充実を重視し、生きる力の育成に努めます。

関西大学幼稚園では、幼児教育の重要性を真摯にとらえ、物心両面の環境設定を重視しています。広々とした園庭をはじめ恵まれた自然環境の中、季節の行事や園生活での豊かな体験を通して、心身ともにバランスのとれた発達と、近年弱まるコミュニケーション能力の獲得を導き、自主性・協同性・生きる力を育みます。時代の流れに翻弄されず、「目の前の子どもにとって何が一番大切なのか」を保護者とともに考え合う姿勢は、本園の特色として根付き、高い評価を得ています。



〒564-0073 大阪府吹田市山手町3-5-34

法学部

グローバルな視野、法的思考力を養い、
多様な分野で活躍する人を育成します。

法学部では複雑化する現代社会において、法的・政治的諸問題に柔軟な対応ができる人材育成を目標にしています。1年次は、共通専門基礎教育として導入演習で法学・政治学の基本的学習技術・方法を修得し、5つの基幹科目の講義を通して知識基盤を確立します。2年次以降は、それぞれの学問的関心や進路

目標に沿って講義の履修を行い、同時に少人数の演習科目を通して問題を分析し、自分の考えを発信していく訓練を受けます。法学部卒業生は、法科大学院進学や各種公務員、司法書士などの専門的職業はもちろん、研究やビジネスなど幅広い分野で活躍をしています。

文学部

人間存在と文化の全体像をより広く
より深く探究する多彩なディシプリン。

文学部は、哲学、歴史、文学という伝統的な領域区分のほかに映像文化、文化共生、情報文化、アジア文化などの新たな分野も含めた19のディシプリン（専修）を擁し、多彩な切り口から人間存在と文化の全体像を広く探求します。まず、高校と大学をつなぐ1年次には導入科目によって文学部での学びの広がり

への理解を深めます。2年次からは各専修に分属し、少人数の演習を核とする多彩なカリキュラムによって専門研究をより深く掘り下げます。文学部は、異なる人間・文化への広い理解と深い洞察を備えた有意な人材を育み、国際社会に送り出すことによって、社会と広く深く連携することをめざしています。

経済学部

経済活動を切り口に広く社会を分析し、
多様な視点から世界にアプローチします。

経済学部では、個々の学生の希望や目標に応じた学習が実現できるように、専修制を核とした教育課程を提供しています。1年次には多くの経済学の基礎となる科目を配置し、経済学学習に必要な基礎力の定着を確実なものとしします。専修に所属する2年次秋学期以降は、所属専修が履修を推奨する科目を

中心に学ぶことで、より深く経済学の専門知識が修得できるように体系化されています。また、各学年には少人数クラスを配置し、学習の効率を高めています。特に、ゼミナールは、社会で即戦力として役立つ応用力を効率的かつ体系的に体得することを可能としています。

商学部

日本をはじめ世界で活躍する
「品格ある柔軟なビジネスリーダー」
をめざします。

日本で、世界でビジネスをしたい人、リーダーとして活躍したい人のために、ビジネス英語と会計(簿記)を基礎に、教育プログラムを提供しているのが商学部です。流通、ファイナンス、国際ビジネス、マネジメント、会計の5分野からなるビジネスの基礎を1・2年次で学びます。そして3年次になると、自分の興味に応じて、どれか一つの分野(専修)を選択。

少人数のゼミで専門的な研究をすすめ、卒業論文を書き上げます。また「英語に強いビジネスリーダー」を養成する特別プログラム(BLS P)や海外ビジネス英語プログラム(Best A)、サービス・イノベーション特別プログラム(DSI)、公認会計士試験合格をめざす会計連携特別プログラム(ALSP)も用意しています。

社会学部

人間と社会、その変化を学際的に研究し、
感性と行動力を兼ね備えた人材を
育成します。

現代社会をテーマに、学際的な取り組みを行う社会学部。社会の諸相と密着した研究を通して、各自がそれぞれの関心に基づいて研究課題を発見できるカリキュラムを設定しています。フィールドワークや実験・実習など実践的な教育を通して理論を実証する姿勢を重視し、鋭い感性と果敢な行動力を兼ね備えた人材

を育成します。確かな視点と広い視野、創造的な発想を獲得する学習・研究内容を反映して、卒業生の進路も多彩に広がっています。「伝統と革新の調和」「専門性と学際性の調和」を教育理念とし、「理論研究と実証分析の調和」を教育目標としています。

政策創造学部

実践的な政策立案力を養う
ゼミを中心とした少人数教育と
多彩な学問領域。

政策創造学部は新たな時代を見据え、地球規模の思考力、行動力を持ち、豊かな地球市民社会を創造できる人材の育成を目的としています。そのため、カリキュラムは、入学から卒業まで外国語教育を重視するとともに、ゼミを中心とした少人数教育で基本能力の育成と学生が主体的に取り組む実践的な学習を重視

しています。また、多様な学問領域を横断的に学べるシステムを構築しています。卒業時には現代社会における多様な問題を総合的に判断し、課題を発見する力、解決の方法を見出す力、それを実行・実現する力を身につけ、国際社会のみならず、地域社会、各種組織、あるいは企業において活躍できる人材を育成します。

外国語学部

高度な「外国語運用能力」、豊かな「教養」
そして「生きる力」を持った
「外国語のプロフェッショナル」を育成します。

グローバル化が急速に進む今日の日本にとっては、諸外国の歴史と現状に関する十分な識見を持ち、世界が抱える諸問題に適切に対応しうる人材の育成が喫緊の課題となっています。外国語学部では、国際交渉能力の基盤となる卓越した外国語運用能力と、海外での1年間の直接経験(Study Abroad)、豊か

な教養を身につけ、「生きる力」を持った国際社会のフロントランナーになり得る人材を、少人数教育で育成していきます。学術、教育、通訳、ビジネス、政府、NPOなどの幅広い領域で、卒業生の国際的な活躍が期待されています。

人間健康学部

「はぐくむ」「つながる」「ささえる」を
キーワードに、人間の健康を探究します。

人間健康学部では、「こころ」「からだ」「くらし」を総合的にとらえ、人間の幸福を実現するための健康に関わる諸問題の解決手法を探究します。「スポーツと健康コース」は生涯スポーツ活動やスポーツ教育を通して、地域コミュニティに貢献できるスポーツ指導者などの養成をめざし、「福祉と健康コース」は社会福祉

を生活環境と健康の関係でとらえ、地域コミュニティにおける福祉文化の構築について探究します。また「ユーモア学プログラム」を設置しており、新たな学問分野へ関心を広げることも可能です。こうした実際の社会を意識した教育展開により、社会の幅広い分野において活躍できる人材を養成します。

総合情報学部

変貌するIT社会の要請に対応できる
確かな情報フルエンシー(利活用能力)
を備えた人材を育成します。

総合情報学部では、文系・理系という枠にとらわれることなく“情報”をキーワードに「人間」「社会」についてのあらゆる問題を探求します。実習型・演習型の充実した初年次教育により情報学への興味をスムーズに高め、多面的な分野におよぶ多彩なカリキュラムと段階的に発展していく豊富な実習科目を通じて、情報・

メディア・コンピュータに関する理論的知識と実践的な情報フルエンシー(利活用能力)を身につけます。最新の情報システム環境を用いた実践的教育を重視し、最先端の技術を追いながらも目先の変化にとらわれず、幅広い視点から情報の本質を見通す力を養います。

社会安全学部

「安全・安心」をキーワードに
誰もが輝ける社会の創造に挑みます。

社会安全学部は、法学、政治学、経済学、経営学、心理学、社会学、工学、情報学、理学、社会医学などを幅広く学び、安全・安心な社会の構築に寄与する人材を育成します。カリキュラムは「事故」と「自然災害」の2つの問題群を中心に、体系的に編成されています。学生は、入学時から少人数のゼミナールに所属し、最新

事例を学びつつ、実習や調査、シミュレーションなど実践重視の教育を受けます。自身の関心や将来の進路に合わせて、安全・安心に関するさまざまな政策立案力と実践能力を身につけることができ、卒業後には多方面での活躍が期待されます。

システム理工学部

自然科学から高度な最先端技術まで、
持続可能な社会を担う「しくみ」を創造します。

本学で唯一、自然科学(理学)を扱う学科を有する「理工」学部です。科学技術の基盤をなす数学、物理・応用物理学から、基幹産業の中核を担う機械工学、電気・電子工学、情報・通信工学などの工学技術までについて、トータルな研究開発・人材育成体制を整えています。地球環境という貴重な資源を浪費せず、

持続可能な社会を作るためのさまざまな「しくみづくり」が、本学部の基幹コンセプトです。自動車や航空機、さらにはインターネットやスマートフォンが世界を小さくしたように、「しくみ」は単に機器の構造ではなく社会を変革する道具であるとの考えのもと、最先端技術の創成とそれに携わる人材を育成します。

環境都市工学部

21世紀の「まちづくり」のために、
科学技術の知識と豊かな創造性、
高い倫理観を兼ね備えた人材を育成します。

私たちが心豊かに安心して暮らすためには、安全で機能的な都市空間を持続的に発展させる必要があります。人、もの、情報が高密度に集積することで新しい価値を生み出し続ける都市は、自然環境と共存できる洗練された人間環境でなければなりません。そこで、地球環境と調和のとれた産業・社会システムを

備えた21世紀の「まちづくり」を進めることが必要となります。環境都市工学部では、環境、都市デザイン、建築、社会基盤、情報、資源、エネルギー、環境化学プロセスをキーワードとして、新しい総合的な科学技術を駆使し、より快適な環境都市を創造・再生できる人材を育成します。

化学生命工学部

分子から新素材、生命まで、
未来に必要な「ものづくり」を学び、
社会に貢献できる研究に取り組みます。

私たちのまわりには、さまざまな素材によってつくられた「もの」があふれています。私たち生命体も物質の集合体です。また、「ものづくり」と「先端技術」の発展には、化学、生命、マテリアルの知識と技術は不可欠です。化学生命工学部では、ナノテクノロジー、バイオテクノロジー、エネルギー、環境、食糧、医療をはじめと

する幅広い分野に対応する技術者の養成をめざし、「新しい分子やマテリアルの設計・発明」「新物質やマテリアルを製造する技術の創造」「DNAやRNA、タンパク質など生体高分子の機能解明とその活用」「生物に含有される機能性化合物の探索」を行っています。



法学研究科

長い伝統と新たな挑戦。
法曹界、政界、官界、経済界、学界に
多様な人材を輩出しています。

文学研究科

きめ細かな専修制と共通科目履修で
専門性と総合性の双方を実現します。

経済学研究科

経済学の専門的研究を通じて、
国際的な視野を持ちながら
地域に立脚した人材の育成をめざします。

商学研究科

現代のビジネス社会を切り拓く
研究者・高度専門職業人を育成する
理論と実践を融合した研究科です。

社会学研究科

現実社会の諸現象を実証的に研究。
高度な創造力を持ち
幅広く活躍する専門家を養成します。

総合情報学研究科

21世紀の高度情報社会において
指導的役割を担う人材を養成する
画期的な研究科です。

理工学研究科

「しくみ」「まち」「もの」づくりの
各分野において活躍できる最新の知識を
備えた技術者と研究者を養成します。

外国語教育学研究科

国内外から高い評価を受ける研究科。
理論と実践を融合し、
外国語教育学の確立をめざします。

心理学研究科

「こころ」についての総合的研究拠点の
形成をめざします。

前期課程には法学・政治学専攻のもとに、法政研究
コース、企業法務コース、公共政策コースおよび国際
協働コースが設置されています。法政研究コースでは
研究者としての基礎的トレーニングを受けつつ、後期
課程への進学を射程に入れた学術研究を行います。
企業法務コースおよび公共政策コースでは、高度な

総合人文学専攻のもとに、前期課程には14専修を、
後期課程には9専修を設け、さらに副専攻としてEU－日
本学教育研究プログラムを開設しています。学生一人
ひとりが専門分野の権威ある教員から入念な指導を
受けられる充実した体制は、本研究科の最も大きな
特徴の一つです。こうした専門領域に加え、共通科目

経済学研究科では、エコノミスト系、パブリックポリ
シー系、地域・国際系、歴史・社会系、企業・ファイナ
ンス系など幅広い科目を用意し、社会人・留学生を含
む多様な学生のキャリア・プランに対応しています。前
期課程ではプロジェクトコース、アカデミックコース
の2つのコースがあり、いずれも修了後、修士の学位
が授与され

前期課程では、研究者養成・後期課程進学コース
と高度専門職養成コースを開設しています。研究者
養成・後期課程進学コースでは専門科目の講義と
論文指導を中心に研究者の育成を図っています。高
度専門職養成コースでは、高度な専門知識、柔軟な
思考力、鋭い現実感覚を兼ね備えたビジネスマン、

集団、組織、メディアなどが複雑に絡む現代社会と
そこに生きる人間の問題を総合的に理解するため
には、各専門領域における理論と方法論の学修に基
づく実証的・論理的な考究が不可欠です。カリキュ
ラムは、専門領域の基礎と最新動向の理解（講義科
目）、調査・実験法や情報処理技術の習得（実習科
目）、

前期課程には、情報メディア・システムと社会、経
済・経営、法・政治・行政、人間行動の変化との関
係を学際的に研究する社会情報学専攻と、知識情報
の先端的理論と技術を学び、新しい情報環境と社会
システムの構築に寄与する知識情報学専攻を設置し
ています。研究者のみならず高度な専門知識を有す

理工学研究科は、理工系3学部9学科それぞれに
直結した9分野によって構成されています。各分野
とも少人数の講義やゼミナールなどによって、学部
で学んだ内容をさらにグレードアップすることをめざ
しています。指導教員のもとで研究・実験を行い、学
会発表や学位論文作成によって、実社会に貢献でき
る研究・

外国語教育のプロフェッショナルを養成する国内・
外屈指の研究科です。多彩なカリキュラムと第一線
で活躍する充実した教授陣を擁することでも知られ
ています。前期課程では、理論から実践までをバラ
ンスよく学びます。また、現職1年制修士、長期在
学制度、昼夜開講制などを取り入れており、社会人
の学びにも

心理学研究科は、1967年以来関西大学において
培われてきた心理学の教育研究を基盤として2008
年4月に開設。2016年4月に再編し、認知・生理
心理学、社会・産業心理学、発達・教育心理学、健
康・人格心理学、計量・方法心理学の5領域から学
際的に研究を行います。本研究科では、人間行動に
関して科学的・

専門的知識を修得し、社会に出て指導的な職務に
携わることをめざします。国際協働コースは、特別
プログラムにより入学した留学生に対する英語のコ
ースです。多彩で充実した教授陣を擁し、社会が求
める新たな分野での研究はもとより、関連領域を含
めた総合的な履修が可能です。

を受講することによって自らの学問を総合化でき
ることも、多彩な学問領域を含む本研究科の特徴と
いえます。学生同士の研究会活動やフィールドワーク
、実習なども積極的に行われ、修了者は大学・高校
の教員や公務員、各種専門職に就くとともに、高度
な専門的職業人としてさまざまな企業にも進出して
います。

ます。プロジェクトコースは公務員、教員、税理士
、企業の専門職などをめざす方のためのコース、一
方、アカデミックコースは後期課程への進学者を念
頭におき、将来的には博士の学位を取得し研究者と
して独立することを期待したコースです。

経営コンサルタント、税理士など高度専門職業人
の育成を図っています。データ分析のスペシャリス
トを養成するDSプログラム科目も提供しています。変
化する現代社会のもとでの企業行動を解明し、専門
的な施策の提言ができる研究者や高度専門職業人の
育成が、本研究科の目標です。

各自のテーマの独創的研究（演習科目）の3つの
柱からなっています。研究成果は学位論文のほか、
機関誌『人間科学』や各学会等で積極的に発表され
、修了生は大学や研究所をはじめ、学校教員や公
務員、民間企業など幅広い分野に進出しています。
また社会学専攻では専門社会調査士資格が取得でき
ます。

人材を養成し、社会人にも広く門戸を開いていま
す。カリキュラムは、複数の教員で構成するプロジ
ェクト型の演習科目を中心に編成されています。後
期課程では、文理総合の総合情報学専攻の1専攻を
設置し、未踏の領域に挑戦する人材を養成します。

開発能力を涵養しています。また、他大学や企業
との連携、海外実習などを通して、広い視野を持
った技術者・研究者の養成にも努めるとともに、す
べての分野で英語基準コースを設置するなど、国際
化に対応した体制のもとでの教育・研究を進めてい
ます。

やさしい研究科といえるでしょう。後期課程では
、研究者養成に向けて実証的な研究手法を研鑽して
おり、学生の執筆した論文が著名国際研究誌に多数
掲載されるなど大きな成果を上げています。両課
程とも社会人や留学生の比率が高いことも特徴の
一つです。

研究的な視点を持ちつつ、実的な問題解決を主導
できる人材の育成に向けて、領域の枠を越えた研究
教育を行っています。さらに2020年4月には、前
期課程に心理臨床学専攻を開設し、「コンピテンシー
指向型」教育に基づく、公認心理師等の心理職養
成の先進的な教育を展開しています。

社会安全研究科

安全・安心な社会の実現をリードする
エキスパートを育成します。

東アジア文化研究科

東アジア文化を動態的・複合的にとらえ、
発進力を持つ国際的人材を育成します。

ガバナンス研究科

よりよき社会の実現に貢献できる
「高度公共人材」を育成します。

人間健康研究科

健康・スポーツ研究を通じて、
人間社会の健康と地域福祉に寄与します。

法科大学院

豊かな人間性とバランス感覚をもった、
創造性あふれる法曹を養成します。

会計専門職大学院

監査界・産業界・官公庁のリーダーたりうる
会計専門職業人を養成します。

留学生別科

(日本語・日本文化教育プログラム進学コース)

日本語能力に加え、大学・大学院での
学術活動の基礎となる能力の養成も
積極的に支援します。

国民生活を脅かす自然災害や社会災害に対処し
て安全・安心な社会を実現するためには、人文科学
、社会科学、自然科学を総合した学際融合研究を通
して、社会安全研究領域を創設するとともに、防災・
減災の実現のための理論創造と政策提言に寄与でき
る人材を養成することが極めて重要です。社会安全

東アジア諸国が相互依存の度合いを一層強めつ
つある現在、一国文化主義的発想を脱却し、自他の
文化をグローバルな視点から把握する視座と手法の
確立が求められています。東アジア文化研究科は、
東アジア文化を絶えざる他者との交渉の連鎖によっ
て形成された複合体としてとらえる文化交渉学の視
点に

これまで各国内や国際社会の諸問題に対する政策
の立案・実施は公的機関や国際機関によって担われ
てきました。現在では、公的機関や国際機関とNPO
や民間企業などが協働しながら内外の諸問題の解
決に取り組むことが求められています。これが「ガ
バナンス」に注目が集まっている理由です。ガバ
ナンス研究科

既存の体育・スポーツ系研究機関が主な目的とし
てきたスポーツの競技力向上よりも、身体活動や運
動とスポーツを通じて人間の健康や幸福の促進を重
視します。ヘルスプロモーションやスポーツプロモ
ーションの観点から地域コミュニティの環境整備を
前提課題として、身体活動や運動ならびに各種のス
ポーツ実践と、健

現代のグローバル化社会の中で、すべての人の生
き生きとした意欲とエネルギーを活かす社会、しか
も豊かな人間性にあふれた社会を構築するための社
会システムを設計できる法曹を育てたいという理念
のもと、開設した法科大学院。法科大学院は理論と
実務の双方の能力を備えた、次世代の法曹を養成

日本の会計・監査制度において世界標準に向けた
見直しが進む中、日本の会計専門職業人も国際水
準での活躍ができるよう、その資質、特に会計・監
査の理論的かつ実践的な能力が要求されています。
会計研究科では、会計人養成の国際教育基準に則
り、公認会計士をはじめとする会計専門職業人の
養成を

研究科では、この大きな社会の要請に応えるため
、我が国の先端的研究をリードする専任教員が中心
となって、「安全の学知」の集積・体系化に取り組み
つつ、防災・減災対策や事故防止、危機管理につい
て、複眼的・総合的な分析と理論・政策創造が可能
となる能力を養成する教育を行います。

立って、東アジアにおける文化交渉の諸相を人文
学諸分野から動態的・複合的に分析します。さら
に、グローバルCOEプログラムで培われた実績を
踏まえ、新しい東アジア文化像を共有し、国際的
発信力をもった人材の育成をめざします。

では、学際的な立場から政策について研究するこ
とを通じて、ローカルあるいはグローバルなレベ
ルにおいて、政策の立案・実行を行うことができる
人材を育成します。それによって、よりよき社会
の実現をめざすことが本研究科の目的です。

康(health)や健幸(well-being)との関係につ
いて研究していきます。また、高度専門職としての
健康運動指導者や体育・スポーツの指導者、地域
福祉の実践者、あるいは学際的かつ実践的視野を
持った研究者の育成を通じて、現代社会が直面す
る課題に正面から取り組み、解決へと導くことをめ
ざします。

高度専門教育機関です。法曹になってから何をす
べきかを見据えて、必要な素養を磨く「プロセス」
を重視し、法的紛争においてそれぞれの立場でもの
を考えられる人材、何のために、誰のために尽力す
るかを考えて行動できる法曹を養成します。

目的とします。さらに、企業や官公庁からの要請
にも対応し、それらの分野で活躍できる会計人の
養成をも目的として、「監査界・産業界・官公庁の
リーダーたりうる会計専門職業人」の養成をめざ
しています。

を設け、学生の言語運用能力や大学・大学院での
学術活動の基礎となる能力を養成するとともに、授
業内外の学習にICTやeラーニングを活用し、各
学生の総合的なコンピューター・リテラシーや情
報リテラシー（ICTを応用した情報収集や分析能
力）も同時に養成しています。



教育推進部

教育推進部は、本学のディプロマ・ポリシーを具現化し、より豊かな学びの環境を学生に提供することを目的に、教育の質保証・向上を図る組織です。共通教養教育の推進、実質化したFD/SD、教育開発・改善、学習支援、学生の教員免許取得に関する学修支援等を行っています。

教育推進部には以下の3つの組織と2つのプロジェクトがあり、各々の所掌事項を推進することにより、教育の質保証・向上に取り組んでいます。

共通教養推進委員会は、学部を越えた学びの場であり、「考動力」の基盤となる資質・能力を育成するカリキュラムの運営に当たっています。また、特徴ある外国語科目のカリキュラムのマネジメントも行っています。

教育開発支援センターは、教育の質保証・向上に向けた全学的な教育支援体制に係る諸施策の企画・開発および推進を図るとともに、学生の学びをより豊かにするために、FD(Faculty Development)/SD(Staff Development)活動や、学習支援に取り組んでいます。本センターでは4人の専任教員を中心に、ライティングラボによる学習支援や学生スタッフ育成など、現在7つのプロジェクトを展開しています。

教職支援センターは、教員養成段階から卒業後の教職生活までを一つの過程としてとらえ、教員として必要な資質能力の開発や実践的指導力の養成、教員採用試験対策等の就業支援も行う教員養成の拠点として活動しています。学校現場や教育行政に精通した3人を特別任用教授として招へいし、実効ある支援策を推進しています。

社会人学び直し大学院プロジェクトでは、社会人向けに履修証明プログラム「海外子会社の経営を担う人材を養成する大学院教育プログラム」を運営しています。

教学IRプロジェクトでは、さまざまなデータの収集・分析・可視化(見える化)を通じて、「学修成果の評価」に取り組んでいます。

ライティングラボ

学生の文章作成をサポートします。

教育推進部では、学生への学修サポートの一環としてアカデミックライティングの指導に取り組んでいます。

「書く力」は、大学での学びに必要な大切な力であるだけでなく、社会で活躍していくために重要な力です。「書く力」の育成は、学部での専門教育の中で行われていますが、その教育を背後でサポートし、学生一人ひとりに寄り添いながら疑問や悩みにこたえる支援組織としてライティングラボを設立しています。

現在、すべてのキャンパスにライティングラボがあり、訓練を受けたチューターによる対面での個別相談のほか、Skypeによるオンライン相談も実施しています。さらに、授業外セミナー「ワンポイント講座」の実施、授業への出張講

座、「レポートの書き方ガイド」の発行など、ライティング支援に関わるさまざまな取り組みを展開しています。



教学IR

よりよい教育・学修活動をめざして、教職協働・学部横断型プロジェクトでさまざまなデータの収集と分析に取り組んでいます。

IR(Institutional Research)とは本来、教育、研究、経営を含む大学内部のさまざまなデータの入手・分析・管理、戦略計画の策定、大学の教育プログラムのレビューと点検などを包括した考え方のことを意味します。

本学では、特に教育面でのIRを推進するために、2014年に教学IRプロジェクトを発足させました。本学の教学IRは、さまざまなデータを収集し、その分析結果を教育・学修の改善に活かすことを目的としています。

本学教学IRの特長

1	全学（マクロ）のみならず、学士課程、教育プログラム単位（ミドル）のニーズに応える	2	直接評価（成績や履修状況などの客観的なデータ）と間接評価（アンケート等、学生が自己評価するデータ）の多様なデータを活用し、本学が掲げる「考動力」を評価する
3	「教える」のみならず、直接学生の「学ぶ」を支援する能動的な活動を行う	4	教職協働、部局横断のプロジェクト型で活動する

ここでいうデータとは、学生の学修活動、大学の教育活動、入試、就職等に係るものを指します。これらのデータを組織的に収集・分析、可視化(見える化)し、確かな根拠に基づく計画立案や意思決定に活用することに力点を置いています。その活動の一環として特徴的なものは、入学時、在学中、卒業時、卒業後

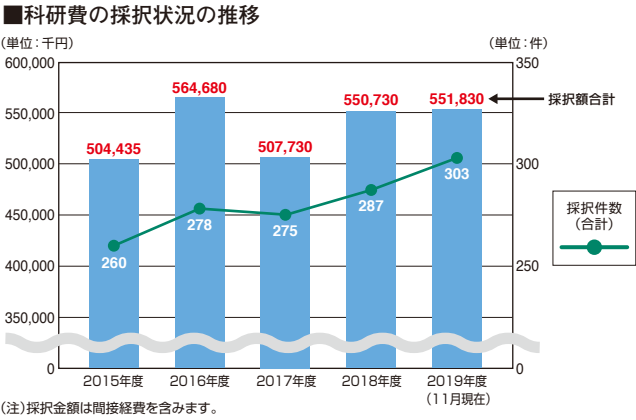
に実施するアンケート調査です。学修行動や学習理解の到達度などの実態を正確に把握することで、学生の「学習したつもり」や、教員の「教育したつもり」の改善に結びつけていきます。

研究推進部

研究推進部では、本学における研究の充実向上を図るための研究推進戦略や諸施策を全学的な視野から協議し、迅速な意思決定を行っています。

研究推進部では、外部の競争的資金の導入促進、研究支援体制の整備、研究倫理や研究成果のあり方、研究費の適正使用などの事項を全学的かつ総合的に推進しています。外部資金の獲得状況では、我が国の最も基幹的な研究経費とされる科研費の採択状況において、2019年度は、医科・歯科を除く私立大学では6位、すべての私立大学では12位と毎年高い実績を誇っています。また、文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」では、これまで22件(全私立大学トップ)が採択されており、2016、2017年度には2年連続で「私立大学研究ブランディング事業」の採択を受け、卓越した先端研究プロジェクトの推進と社会への研究成果の「見える化」を一体的に展開しています。

さらに、2012年度からURA体制(高度な専門能力を有するスタッフによる研究マネジメント体制)を導入しており、異分野を融合した研究プロジェクトの創出支援など、新たな価値創造に向けた活動を推進しています。



研究ブランディング事業

■ KU-SMART PROJECT

『人に届く』関大メディカルポリマー (KUMP) による未来医療の創出

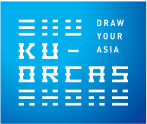


「KU-SMART PROJECT」は、2016年度文部科学省私立大学研究ブランディング事業(タイプB)に選定された研究プロジェクトです。本学発の革新的医用高分子材料「関大メディカルポリマー (KUMP)」を基軸に、3つのM(Materials, Mechanics, Medicine)で、人に届く医療器材および治療・診断システムの開発を通じた社会貢献をめざしています。「KUMP」が持つ、「温度などを感知・認識して形を変える」「溶液からゲルに変化する」「体内において狙った速度で分解吸収される」といった性質によって、治療と診断における患者の肉体的・精神的・経済的負担を軽減させることを可能にします。

同プロジェクトは、2004年に本学先端科学技術推進機構内に創設した医工薬連携研究センターが、医薬学系大学や医療機関と連携しながら積み上げた研究実績をベースに活動しています。その主たる目的は、大阪医科大学との医工連携体制の中で、現場の臨床医からのニーズに基づき、医療用の材料・システムを開発、さらには国際競争力のある医療機器として製品化し、臨床現場(人＝患者と医師)に届けること。具体的には、現在「内視鏡下で使える癒着防止材・止血剤」や「軟骨・半月板を再生する足場となるポリマーゲル」の開発等に着手しています。

■ KU-ORCAS

世界最高水準の東アジア文化研究拠点。オープン・プラットフォームが切り拓く新たな人文知の未来



関西大学アジア・オープン・リサーチセンター(KU-ORCAS: Kansai University Open Research Center for Asian Studies)は、東アジア文化研究における世界最高水準の研究拠点を形成すべく、2017年4月に発足。2017年度文部科学省私立大学研究ブランディング事業(タイプB)に選定されました。本学は、江戸時代後期に開かれた漢学塾「泊園書院」をその源とする東西学術研究所を中心に、近年のグローバルCOEプログラムや、文化交渉学の提唱等におけるめざましい研究業績により、「東アジア文化研究の関大」として世界的に認知されてきました。KU-ORCASでは、長き伝統の中で培われてきた同研究の学術リソースと国際的学術ネットワークを基盤に、デジタル知識基盤社会に適合した「デジタルアーカイブ」を構築します。また同時に、「研究リソース」「研究グループ」「研究ノウハウ」の3つをオープン化し、これまでの学問領域や人の垣根を越えた新たな人文知の創造に向けて、世界に開かれたハブ機能を備えたオープン・プラットフォームを形成します。

東西学術研究所

東西の多様な文化をグローバルな視点から多角的に研究。

1951年、東西両洋文化の比較研究に重点をおきながら、広く世界の文化研究を企図して開設されました。「アジアにおける文化交流の研究」と「東西文化交流の研究」の2つを基本テーマに、グローバルCOEの後継組織としても役割を果たし、文化交渉学の創生を国際的なネットワークを通じて研究し、全部で8研究班が共同研究活動を行っています。その成果は「研究所紀要」「研究所々報」「研究叢刊」「資料集刊」「訳注シリーズ」「国際共同研究シリーズ」

文化交渉学研究拠点

グローバルCOEプログラムで培った実績を基盤に、文化交渉学における世界最高レベルの研究拠点として充実・発展させていきます。

2007年度にグローバルCOEとして採択された「東アジア文化交渉学の教育研究拠点形成」プログラムにより「文化交渉学教育研究拠点」を設置し、5年間にわたり文化交渉学の世界的教育研究拠点を形成するため、教育・研究プログラムを推進してきました。この間、2009年度に世界的に著名な研究者らに呼び掛けて創設した「東アジア文化交渉学会」は、20数カ国・地域に跨った約550人の会員を擁する世界的な学会に成長しました。また、2008年には文学研究科文化交渉学専攻、2011年には東アジア文化研究科文化交渉学専攻

が開設され、80人以上(2019年12月現在)の大学院生が学んでおり、すでに多くの博士を輩出しています。さらに、2012年には、東アジア文化研究科から申請した東アジア文化交渉学の教育研究拠点が、文部科学省の「卓越した大学院拠点形成支援補助金」に最高評価の「S」を獲得して採択されました。また、グローバルCOEプログラムによる5年間の研究活動および国際的ネットワークをさらに継続的に発展させるため、2012年度から東西学術研究所の研究班を再編の上、「文化交渉学研究拠点」を設置しました。これにより同拠点を将来にわたって文化交渉学における国際的研究拠点として定着させ、国際的研究ハブとしての本学の地位確立に貢献します。

経済・政治研究所

産・学・官が連携して活発な研究を展開し、研究成果を広く社会に還元しています。

1958年、社会科学系研究所として設置されて以来、研究領域を横断的に統合し学際的な共同研究を展開しています。近年、高度化・グローバル化とともに産・学・官の連携を基軸とした「社会に貢献する研究所」を指向した事業を展開しています。2020年度は、関西・大阪の社会経済問題の歴史と現状研究班、自助・共助研究班、合意形成と制度研究班、エキシビションとツーリズム研究班、コンピュータ

化によるパラダイム変化研究班、近代関西経済の発展とアジア・アフリカの国際関係史研究班の6研究班が活動しています。研究成果は『研究双書』『調査と資料』『セミナー年報』として刊行し、学部および大学院教育等へ還元しています。また、社会に開かれた研究所事業の一環として「産業セミナー」と「公開講座」、さらに「公開研究会」を開催しています。

先端科学技術推進機構

産学官連携・プロジェクト研究の推進拠点として、人と地球がよりよい未来を迎えるために、科学技術の向上と普及を推進しています。

先端科学技術推進機構は工業技術研究所を前身とし、先端科学技術の研究拠点としてプロジェクト研究、受託研究、学外共同研究等の推進を目的に2002年に改編しました。機構内には、研究員が所属する4研究部門（[N]新物質・機能素子・生産技術、[I]情報・通信・電子、[B]生命・人間・ロボティクス、[E]環境・エネルギー・社会）があります。また、

4研究センター（戦略研究総合、医工薬連携研究、地域再生、社会空間情報科学研究）を設置し、文部科学省採択事業をはじめ、国、独立行政法人等が実施するプロジェクトにおいて積極的な研究活動を展開するとともに、その研究成果を「関西大学先端科学技術シンポジウム」やウェブサイト、刊行物等を通して社会に広く発信しています。

法学研究所

市民の法生活の向上と法文化発展に寄与する「法情報の発信基地」。

法学研究所は、立法、司法、行政に関する理論、政策および実態を総合的に研究調査し、学問的先端領域を開拓するとともに、市民の法生活の質的向上と法文化の発展に寄与することを目的として、1987年に設立された研究機関です。2020年度は、「帝国」的实践研究班、開発法学の再検討研究班、相続と取引をめぐる変容研究班、現代消費者私法

の理論と実務研究班が活動しています。研究の成果は、公開講座や刊行物として市民や実務家などに還元するよう努めており、高い評価を得ています。また、これまで蓄積してきたマイノリティ研究を基盤として、2008年度から2012年度まで文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「マイノリティ研究センター」が、研究活動を展開し、成果を上げました。

ソシオネットワーク戦略研究機構

総合的政策研究の共同利用・共同研究拠点。

ソシオネットワーク戦略研究機構は、高度な情報通信技術を活用したネットワーク戦略の総合的政策研究を行い、日本を含む世界が直面している社会的課題の解決のための学術的基盤を形成することを目的としています。この目的を達成するために、RISS経済心理学データアーカイブおよび経済実験室の共同利用や公募研究の拡充を進めているほか、産学官連携、英文査読付学術誌「The Review

of Socionetwork Strategies (RSOC)」の発行など、特色ある取り組みを推進しています。本機構は、2008年10月に、文部科学大臣から「共同利用・共同研究拠点」に新規認定されて以降、継続して認定更新され、研究者コミュニティに開かれた拠点として、学際的かつ実証的な研究を通じて、社会に資する政策の探求と実現に貢献しています。

人権問題研究室

さまざまな人権に関わる問題を調査・研究し、人権感覚あふれる社会の構築をめざします。

1974年に私立大学ではじめて設立された部落問題研究室を、1985年に改組。部落問題、人種・民族問題、障害、ジェンダー等、人権に関わる国内外の諸差別の問題を研究し、学内外の基本的人権の確立とそのための教育・研究の向上に寄与することを目的として設立されました。研究成果は『人権問題研究室紀要』等に発表し、全国の関係機関に配布

するほか、『人権問題研究室室報』によって活動状況や資料の紹介などを行っています。また、人権問題に関する図書・資料を収集して全学の教職員・学生の利用に供しています。さらに、研究成果を学内および社会に広く還元し人権意識の向上に寄与するため、学生、教職員、一般市民を対象にした公開講座も定期的に開催しています。

総合図書館

トップクラスの施設と蔵書で教育・研究をサポート。古典籍の収集から電子資料の提供まで、充実した機能。

1985年に開館した総合図書館の蔵書数は約218万冊、年間利用者数は約66万人で、大学図書館としてトップクラスの設備と規模を誇ります。本学の中央図書館として、研究者と学生の両方を対象とする蔵書構成とサービス機能を備えています。また、学生の能動的な学修を支援するスペースとしてラーニング・コモンズを設置しています。そのほか、高槻、高槻ミュージズ、堺の各キャンパスにも、それぞれの設置学部・研究科向けの図書館を備えており、キャンパス間相互に資料を取り寄せて利用することもできます。総合図書館では、これまでに収集した貴重書や書画・古典籍を教育・研究に活用しつつ、後世に伝えるべき文化財として厳重に保管する一方、その一部を図書館ウェブサイトで公開しています。また、国内外の電子ジャーナルや電子書籍、データベースを利用できる環境を整え、従来からの紙の資料と、電子資料の双方を効果的に利用できる図書館として、機能の充実を進めています。

関西大学博物館

約60,000点にのぼる実物資料を集成した大学博物館。教育・研究のほか、広く市民にも一般公開し、普及活動も充実。

1954年に故末永雅雄名誉教授（1988年文化勲章受章）が設立した考古学資料室を前身として、1994年4月に博物館相当施設として開館しました。根幹となる資料は、故本山彦一氏（大阪毎日新聞社第5代社長）が蒐集した約20,000点の考古資料コレクションで、2011年に一括して国の登録有形文化財に登録されました。重要文化財16点を含む、約700点を常設展示しています。博物館は、本学に現存する最古の建物「簡文館」（大阪府指定文化財）のなかがあり、展示室の実物資料を使った考古学・歴史学、美術工芸史関係科目や博物館実習の授業を行うほか、地域に開かれた生涯教育の場として、企画展や講演会、キッズ・ミュージアムなどを開催しています。また、博物館前には、本学が深く関わった高松塚古墳の発掘調査（1972年）を顕彰した壁画再現展示室があり、精緻な美術陶板に焼き付けられた原寸大の壁画（レプリカ）を見ることができます。

ITセンター（インフォメーションテクノロジーセンター）

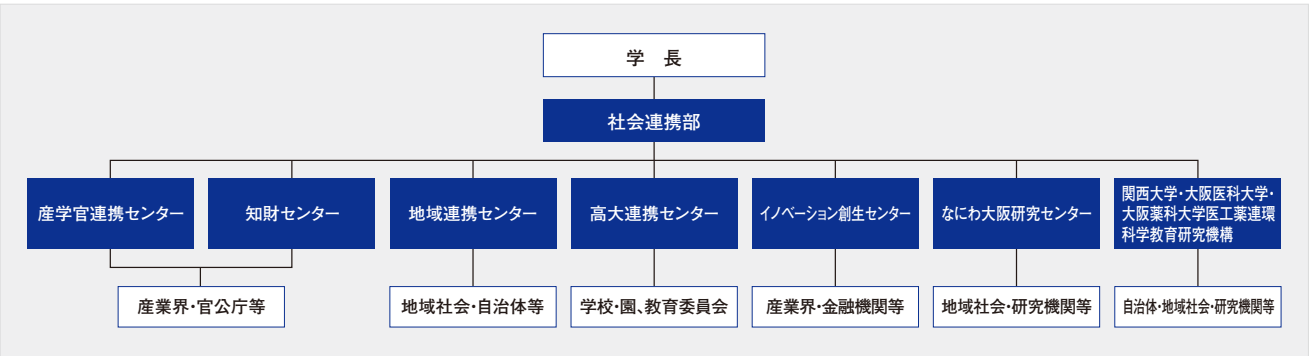
最先端のITシステムで教育・研究基盤をサポート。

最先端のICT環境を整備し、教育や研究、学内事務を支援しています。千里山・高槻・高槻ミュージズ・堺などのキャンパスを網羅する高速ネットワーク“関西大学学術情報ネットワーク「KAISER」”を整備、構築し、高度な研究、先進的な教育の支援を行っています。また、本学は国立情報学研究所が運用する「学術情報ネットワーク（SINET）（10Gbps接続）」を利用し、学内外の研究機関との先進的な研究やマルチメディアを活用した多様な教育がストレスなく実施できる環境を整備しています。ITセンターには、学生や教職員が自由に利用できるパソコンコーナーを設けています。さらに、学内に約2,000台の無線アクセスポイントを設置しており、個人所有のパソコンやスマートフォン、タブレット端末などを学内無線LAN「KU Wi-Fi」に接続して利用することができます。



社会連携部 総合大学の「知の創造拠点」として、知的資源の社会還元と有効活用の実現。

社会連携を推進するため、学長直下の全学組織として「社会連携部」を設置し、産学官連携、知的財産の創造・保護・活用、地域連携、高大連携等の推進を通じ、地域社会、産業界との連携を図っています。副学長を部長とし、その傘下に産学官連携センター、知財センター、地域連携センター、高大連携センター、イノベーション創生センター、なにわ大阪研究センターおよび関西大学・大阪医科大学・大阪薬科大学医工薬連環科学教育研究機構を設置し、多様な大学の知的資源・人材などを活かす組織・体制を構築することにより、「知の創造拠点」として、大学の使命である「社会貢献」を実践します。



産学官連携センター

本学では、1964年に工業技術研究所(2002年に先端科学技術推進機構に改編)を開設して以来、研究成果の活用を積極的に行い、産学官連携の促進を図っています。産学官連携センターは、総合大学の多様性を活かした連携テーマにより産業界等との連携を実践しています。また、産学官連携ポリシーに基づき、企業や公共団体等との連携による共同研究や受託研究の推進と研究の機関管理、企業や外部連携機関からの技術相談への対応、技術交流セミナー等の開催による研究成果情報の発信、本学の産学官連携活動に関する学内外への啓発に取り組んでいます。

地域連携センター

地域連携センターは、地域社会との連携窓口としての役割を果たすとともに、地域連携に関するノウハウの蓄積、連携活動の具体化を図ります。地方自治体や団体、企業との連携協定の締結や、教育研究活動を通じて連携先の課題解決をめざす地域課題解決型事業の展開を推進しています。また、学内外において多様で特色ある公開講座やセミナーを開催し、本学の教育研究活動の成果を広く社会へ届けることにより、開かれた大学の役割の一翼を担っています。

イノベーション創生センター

イノベーション創生センターは、2016年に設置されました。千里山キャンパス中央に位置し、総合大学の利点を活かした人文・社会・自然科学系の学問分野を融合し、産学官連携活動の飛躍的な活性化となる研究活動の支援と関大発ベンチャーの支援、人材育成などによる本格的なイノベーション創出の拠点となることをめざしています。

関西大学・大阪医科大学・大阪薬科大学医工薬連環科学教育研究機構

関西大学・大阪医科大学・大阪薬科大学医工薬連環科学教育研究機構は、医学・工学・薬学・看護学を融合した医工薬連環科学分野において、三大学が連携して、大学の使命である教育・研究・社会貢献に取り組んでいます。三大学の特色を活かし、またその協働によって新たな成果を生み、社会へ提供できるよう尽力しています。

知財センター

知財センターでは、知財ポリシーに基づき、研究成果(知的財産)の管理体制の整備(発明規程等取り扱いルールの整備・運用)を行い、研究成果を産業界へ技術移転するための積極的な活動を行っています。また、知財に関するセミナー等の開催や知財インターンシップ事業により、教職員や学生に対する知的財産権に関する啓蒙活動を行っています。

高大連携センター

高大連携センターは、大学の重要な使命の一つ「次世代の人材育成」を目標に掲げ、同じ使命を共有する教育委員会、高等学校、中学校、小学校、幼稚園、支援学校等と連携を図りながら、さまざまな高大連携事業に取り組んでいます。例えば、高校生が「大学の学び」を体験できる出張講義や公開授業、現職の教員を対象とした研修講座、本学学生が教育現場で就業体験を行う「学校インターンシップ」などが挙げられます。これら各種プログラムを通じ、豊かな教育環境の創出と次世代を担う人材の育成をめざしています。

なにわ大阪研究センター

なにわ大阪研究センターは、長年集積してきた豊富な地域研究を学術資産として受け継いでいくこと、総合大学としての特色を活かし、人文科学・社会科学・情報通信学・防災学・理工学等の各分野を統合する「総合科学」の粋を集めて、「大阪を中心とした地域研究のハブ」を形成することを目的としています。「大阪」に生まれ育まれた大学としての社会的な使命と期待に応えるため、全国、さらには世界に向けて情報を発信する「大阪研究の拠点」としてその充実を図ります。

梅田キャンパス “KANDAI Me RISE”

未来へと飛翔する関大人のシンボルとなる都市型拠点。

梅田キャンパスは、「人を導き、繋ぎ、自ら起こし、創る“人”を育成～“考動”を实践する場の創出～」をコンセプトに、地域・社会・大学がともに発展できる新たな拠点として2016年10月に開設しました。梅田キャンパスでは、未来に向けた学びの高度化・多様化のニーズに応えるため、さまざまな交流や知的資源の発信を推進し、その相乗効果によって“大阪”と“人”の活性化を図るべく、主に以下の事業を行っています。

スタートアップ支援事業 ～START UP CAFE 大阪～

活躍する起業家・専門家から直接学べるセミナーや相談会を実施し、「アイデアを実現したい」「こんな会社を起したい」など、起業やその支援に興味のある仲間と出会い、交流できる“START UP CAFE”を設置しています。自らのキャリアや生き方を考える上で、選択肢の一つとして「起業」という道があることを広く知ってもらい、学びや出会いの場の創出や実際に起業を志す際の支援などの“関西におけるスタートアップ文化の醸成”を促進します。

“START UP CAFE”は在学生や校友のみならず、広く一般に向けて開かれており、地域活性化の拠点にもなっています。



会員制異業種交流サロン事業 ～KANDAI Me RISE倶楽部～

自分がより成長するために、集中して学習できる環境が欲しい、魅力的な人材とのネットワークを構築したい、という想いを持っている社会人のニーズに応えるため、会員制の有料コワーキング・ビジネスサロンを展開しています。

職場とも自宅とも異なる、もう一つの基地を持ち、新しい情報や人材との出会いによって常に自分を向上させるために、本学関係者に留まらず、多様な社会人が活用しています。



東京センター 首都圏における関西大学の活動拠点。

東京センターは、「人が活きる 人を活かす“知のエンタテインメント”」をコンセプトに、本学の人材輩出力・育成力をふまえ、未来に向けて人が輝き、交流し、世の中を活性化させられるよう、さまざまな活動を行っています。5つの力(①学生の就活力 ②OBの求心力 ③企業人との連携力 ④社会人の知力 ⑤研究者のアピール力)の向上に貢献できるよう、首都圏の情報発信基地として本学発の知のちから、人のちからをパワフルに支援し、発信しています。

■首都圏への就活生をサポートする「情報基地」「活力を蓄える場所」 関西から首都圏を訪れる就活生にとって、JR東京駅隣接というアクセスの良さが最大の魅力です。学生は、資料作成や荷物の一時保管、休憩・仮眠、着替え、簡単な飲食のスペースとして利用することが可能です。また、各種証明書発行にも対応し、ハードソフトの両面から就職活動の支援体制を整えています。

■OBや企業人・マスコミへ大学の今を伝える 「PR最前線」「首都圏における情報発信拠点」 ウェブサイト・SNSを駆使して最新の研究成果や学生の活躍など、大学の「今」を積極的にPRしています。



社会人向け学び直し・生涯学習事業

■社会人向け大学院教育 梅田キャンパスを拠点とする社会人向け教育プログラムとして、海外展開を図る企業の人材を養成する「社会人学び直し大学院プログラム」を開講し、高度人材養成に努めています。また、大学院の社会人向け科目も一部開講しています。

■関西大学オープンカレッジ 梅田MeRISE 大阪の玄関ともいえる梅田の地の利を活かし、気軽に教養や文化に親しみたいという方への「まなびの場」を提供しています。多様化している社会人生涯学習ニーズに応えるため、各種ビジネス直結型セミナーや教養講座など、多種多様なプログラムを展開しています。



キャリアセンター梅田オフィス 大阪市内での就職活動拠点として関大生を力強く支援しています。また、校友も利用可能な各種証明書の発行も取り扱っています。

■知を介して、人が交流し成長するコンテンツを提供する「学び舎」 主に卒業生を対象として、今日的で実用性の高い企画を提供し、大学と卒業生、そして卒業生同士の連携を密にする「場」と「絆」づくりに向けたコンテンツを創出しています。さらに、一般の方も参加できる公開講座やセミナーを開催し、首都圏における社会貢献や産学連携活動にも努めています。



〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー9階 [交通案内] JR「東京」駅日本橋口に隣接 東京メトロ「大手町」駅B7出口直結



キャリアセンター

多彩なプログラムやサポート体制で、学部1年次生から4年次生、大学院生、卒業生に至るまでの進路選択・就職活動を力強く支援。

キャリアセンターでは、学生一人ひとりの将来の夢を実現させるために、さまざまなサポートを行っています。低年次から段階的に自分の将来のあり方を考えるために、正課のキャリア教育科目に加えて、キャリアデザインや実践的なスキル・知識を学ぶセミナー、企業等で就業体験をするインターンシップなど多彩なプログラムを実施しています。また、国際化社会に対応すべく、アメリカの複数地区および経済成長著しいアジア圏での国際インターンシップなどを展開し、グローバル人材の養成を行っています。そのほか、延べ1,200社を超える企業を招く学内業界研究セミナー、企業研究セミナー、各種就職活動対策講座、OB・OGとの懇談会を開催するなど、多彩なプログラムで学生をサポートしています。さらに、専門家によるキャリアカウンセリングを実施する「キャリアデザインルーム」を設置し、キャリアセンター事務室内に就職専門相談員を配置するなど、さまざまな相談にきめ細かく対応しています。

【各キャンパスのキャリアセンター】

・千里山キャンパス	キャリアセンター事務室、キャリアセンター理工系事務室、キャリアデザインルーム、卒業生就業支援室、就職情報資料室
・高槻キャンパス	キャリアセンター高槻キャンパス分室
・高槻ミューズキャンパス	キャリアセンター高槻ミューズキャンパス分室
・堺キャンパス	キャリアセンター堺キャンパス分室
・首都圏、大阪都心部での就職活動サポート拠点:東京センター、キャリアセンター梅田オフィス(梅田キャンパス内)	



エクステンション・リードセンター (KUEX)

多彩で実践的なカリキュラムから成る14の講座を開講し、在学生、卒業生から一般の方まで、さまざまな受講ニーズに応えます。

エクステンション・リードセンター(クエックス)は、在学生のキャリア形成および就職活動支援等を目的に、各種資格取得、難関国家試験受験のための対策講座を開講しています。また、卒業生および一般の方にも門戸を開放しています。

各講座には目的に応じたきめ細かいコースを設定しており、指導力の高い講師陣や模擬試験等を盛り込んだ実践的なカリキュラム構成は、教育効果を高め、受講生の学習意欲の向上につながっています。さらに、受講生アンケート調査の結果や社会のニーズを考慮し、講座内容を向上させるために常に検討を重ねています。



【2020年度講座一覧】 ※一部の講座では開講キャンパス(千里山キャンパス、高槻ミューズキャンパス、堺キャンパス)が異なります。

・英語講座*	・公務員講座	・司法講座
・簿記検定講座	・税理士講座	・公認会計士講座
・就職試験対策講座	・ファイナンシャル・プランナー講座	・宅地建物取引士講座
・総合旅行業務取扱管理者講座	・ビジネス資格バックWEB講座	・行政書士講座
・UCLA Extension提携オンライン講座*	・日本語教育能力検定対策講座	

★[英語講座]においては、グローバル化社会に対応できる人材養成を目的として、通学型の講座のほかに、海外で受講するプログラムと、自宅でのオンラインレッスンを取り入れたプログラムも開講しています。また、米国カリフォルニア大学ロサンゼルス校のエクステンション機関(UCLA Extension)と部局間協定を締結し、英語で学ぶビジネス講座「UCLA Extension提携オンライン講座」を展開しています。

学生相談・支援センター

学生相談全体の総合相談窓口と障がいのある学生の修学支援に関する相談窓口です。

学生相談・支援センターは、学生の相談内容に応じて専門部局へのコーディネートを行う「総合相談窓口」と「障がいのある学生に対する修学支援窓口」の2つの機能を持っています。

「総合相談窓口」としては、「どこに相談に行けばいいかわからない」といった学生の相談内容に応じて、教務センター、授業支援ステーション、学部オフィス、各キャンパスオフィス、学生センター、キャリアセンター、国際部、保健管理センター、入試センターなどの専門部局を案内しています。

「障がいのある学生に対する修学支援窓口」としては、障がい学生支援コーディネーターを配置し、正課授業を中心に障がいのある学生がほかの学生と同等の条件で修学できるよう、関係部署等と連携して支援を行っています。



保健管理センター

心身ともに充実したキャンパスライフを送るための、健康支援を行っています。

学生および生徒・児童・園児ならびに教職員の健康を保持、増進することを目的として、保健管理に関する専門的業務を行い、健康な大学生活が送れるように、定期健康診断などの健康支援を行っています。千里山キャンパスには保健管理センターおよび第一診療所があり、高槻キャンパス、堺キャンパスには保健室があり、高槻ミューズキャンパスには保健センターがあります。疾病や健康に関する疑問、悩み、不安、心配ごと等の相談に、医師・保健師・看護師が応じています。



入試センター

「考動力」と「革新力」を備えた人材育成をめざす関西大学の取り組みを紹介し、大学・大学院の学びへのベストマッチングをめざしています。

入試センターは、受験生や保護者対象の大学紹介をはじめとした広報活動、学部および大学院への入学試験の制度設計から実施を主たる業務としています。大学を取り巻く環境変化の中で、大学・大学院への進学志向も変化しています。こうした状況を受け、入試センターでは、本学を志望する受験生や保護者、進路指導の先生方へ入試制度はもとより各学部、研究科の内容をできるだけ具体的に紹介し、進学を志望する方の興味、関心とのマッチングが図れるように努めています。



ラーニング・コモンズ

学生たちが「知」を共有できる創造的学習空間。

本学では、正課学習・課外活動を問わずアクティブな学習ができる空間として、総合図書館「ラーニング・コモンズ」、総合学生会館メディアパーク凜風館「コラボレーションコモンズ」の2つのラーニング・コモンズを開設しています。

「ラーニング・コモンズ」は、ノートPCやプロジェクター、電子黒板などを活用して、グループ学習やディスカッションに利用することができます。また、レポートや卒業論文などの文章作成の相談・支援も行っています。

「コラボレーションコモンズ」は、主体的な学びに取り組む学生が予約なしで自由に使用できる場として開放されています。ノートPCやプロジェクター、ホワ

イトボードなどを活用して、グループ学習に利用することができます。また、学生生活で役立つ図書や、学生のリクエストに応じた図書も配架しています。



学生寮

教育的効果を期待する施設として5つの学生寮を設置し、豊かな人間力を育成。

学生国際交流館・秀麗寮
(男子寮：定員181人)

ドミトリー月が丘
(女子寮：定員102人)

南千里国際プラザ留学生寮
(男女共生寮：定員169人)

南千里国際学生寮
(男女共生寮：定員144人)

千里凱風寮
(男子寮：定員54人)

千里山キャンパスから徒歩約5分の場所にある男子専用寮です。この寮では、海外協定大学からの交換受入留学生が関西大学の一般学生とともに入寮しており、レジデント・アシスタントが入寮者の日常生活をサポートします。寮室は主に2人部屋(一部、1人部屋有)で、共用施設も充実しており、日常生活の中で自然な国際交流ができる環境となっています。

千里山キャンパスから徒歩約15分の場所にある女子専用寮です。この寮では、海外協定大学からの交換受入留学生が関西大学の一般学生とともに入寮しており、レジデント・アシスタントが入寮者の日常生活をサポートします。寮室は全室2人部屋で、共用施設も充実しており、日常生活の中で自然な国際交流ができる環境となっています。また、管理人が住み込みで常駐しているため、安全・安心な生活空間となっています。

千里山キャンパスから自転車で約15分、阪急千里線南千里駅から徒歩約5分の場所にある男女共生寮です。この寮では、留学生別科生のほか、関西大学の一般学生も入寮しており、レジデント・アシスタントが入寮者の日常生活をサポートします。寮室は全室ユニットバスを備えた1人部屋で、共用施設として、多目的室、レクリエーションルーム、キッチン、ラウンジ、洗濯室などを備えています。また、地域の方々も交えた異文化交流を展開しています。

千里山キャンパスから自転車で約20分、阪急千里線南千里駅から徒歩約10分の場所にある男女共生寮です。この寮では、交換受入留学生のほか、関西大学の一般学生も入寮しており、レジデント・アシスタントが入寮者の日常生活をサポートします。寮室は1人部屋(一部2人部屋有)で、共用施設として、多目的室、自習室、キッチン、シャワー室、洗濯室などを備えています。また、地域の方々も交えた異文化交流を展開しています。

2004年に教育後援会の寄贈により建設された体育会男子専用寮で、千里山キャンパスから徒歩25分程度の住宅地に建てられています。寮室は1人部屋で在寮年限は4年間。鉄骨造3階建て、1階にはコインランドリー、乾燥室があり各階にシャワー室やロビーなどを備えています。

※その他、提携国際学生寮もあります。

セミナーハウス

豊かな人間形成と教育・研究の一層の充実をめざした多彩な施設。

本学では、教育・研究活動の充実に資するため、全国に5カ所のセミナーハウスを設けています。教職員、学生の研究・研修のほか、ゼミ旅行・合宿などの正課活動で利用することができます。施設はいずれも自然にあふれた静かな環境にあり、キャンパス内の教室や研究室と違った雰囲気の中で、教育・研究の一層の効果が期待できます。また、教員・友人と寝食をともにすることによって豊かな人間関係を育む場ともなります。施設により、クラブ・サークルの合宿などの課外活動のほか、校友や学生の父母・保護者も利用することができます。



高岳館 (大阪府高槻市)



白馬梅池高原ロッジ (長野県北安曇郡)



六甲山荘 (兵庫県神戸市)



彦根荘 (滋賀県彦根市)



飛鳥文化研究所・植田記念館 (奈良県高市郡)

国際部 真のグローバル人材を育成するインターカルチュラル・イマージョンキャンパスの実現。

本学の国際化戦略を描いた「関西大学国際化戦略2014-2023 TRIPLE I (トリプル・アイ) 構想」に基づき、豊かな国際感覚と高度なコミュニケーション能力を身につけた、真のグローバル人材の育成を積極的に推進しています。異文化交流によるイマージョン空間を実現することで、留学生と日本人学生が日本語と外国語を駆使して、教室の内外で多様な価値観や問題解決能力を、実践を

通して育むことができるよう、多彩なプログラムの開発・提供に取り組んでいます。また、イマージョン空間の実現に向けて、海外の大学と活発な学生および研究者の交換ができるよう、協定校の開拓を進めています。協定校は193校(2020年1月現在)におよんでいます。

世界展開力強化事業

■「COIL Plus」プログラムを通じて、グローバル・キャリアマインドを醸成し、日米間のCOIL型教育実践を促進。

※COILの詳細については次ページに記載

本学は、2018年度文部科学省「大学の世界展開力強化事業」において、全国で唯一、タイプB(交流推進・プラットフォーム構築プログラム)の採択を受けました。
 本学が実施する「COIL Plus」プログラムでは、COILメソッドを活用した米国の大学との共修学習活動と、留学先における就業体験や企業訪問等の多彩な活動を組み合わせることで、自らの将来の可能性を国境や言語、文化の壁を

乗り越えて考える「グローバル・キャリアマインド」を醸成します。また、既存のネットワークを活用しながら、日本国内におけるCOIL型教育実践を促進する基盤拠点「IIGE (Institute for Innovative Global Education)」を構築し、次世代の新しい「越境的国際教育 (Cross-Border Education)」のモデルを提唱します。

海外協定校

イタリア

ローマ大学ラ・サピエンツァ
フィレンツェ大学

ウズベキスタン

タシケント金融大学
タシケント国立東洋学大学

イギリス

バーミンガム大学
ロンドン大学SOAS
マンチェスター大学人文学部
ラフバラ大学
アストン大学
イーストアングリア大学
ノーサンブリア大学
マンチェスター・メトロポリタン大学
レスター大学
ロンドン大学バークベック校

オランダ

エラスムス大学カレッジ
ハーグ応用科学大学
ハンザ応用科学大学

キルギス共和国

中央アジア・アメリカ大学

クロアチア

ザダル大学

スイス

チューリッヒ大学

スウェーデン

リンネ大学
リンショーピン大学

スペイン

サンティアゴ・デ・コンポステラ大学
アルカラ大学
コルドバ大学

デンマーク

ロスキレ大学
オールボー大学

ドイツ

ゲッティンゲン大学
ケルン大学
コンスタンツ大学
エアランゲン・ニュルンベルク大学
ドレスデン工科大学
ギーゼン大学
ヴィアドリナ欧州大学
ヴィッテン・ヘルデッケ大学
SRH大学ベルリン
ブフォルトツハイム大学

ノルウェー

西ノルウェー応用科学大学

フランス

パリ第3大学
パリ第7大学
西カトリック大学
ESCEM
ル・アーヴル大学
インセックビジネススクール
パリ・エスト・クレティユ大学
EIGSIエンジニアリングスクール

ベルギー

ルーヴェン大学
ヘント大学

ポーランド

ヤギェウォ大学
グダニスク工科大学
シレジア工科大学
ニコラウス・コペルニクス大学

ロシア

太平洋国立大学
アストラハン国立大学
ウリヤノフスク国立大学

インド

ベナレス・ヒンドウー大学
ゴア大学バーベイバイチョウグルカレッジ
IILM Institute for Higher Education

インドネシア

ガジャ・マダ大学
パダン州立大学

スリランカ

コロンボ大学

タイ

タマサート大学
チュラロンコン大学
キングモンクット工科大学
トンプリ校
カセサート大学
チェンマイ大学
バンヤピワット経営大学(PIM)
ランカムヘン大学
ランシット大学

韓国

漢陽大学
東亜大学
嶺南大学
高麗大学
又松大学
慶尚大学
韓国外語大学
慶熙大学
国立慶北大学
誠信女子大学
韓国カトリック大学
建国大学
東国大学
東西大学
国立釜慶大学
慶南大学

中国

遼寧大学
復旦大学
東北大学
北京大学
香港中文大学
北京外国語大学
華中師範大学
華南師範大学
浙江工商大学
中央民族大学
北京郵電大学
香港教育大学
寧波大学
東華大学
廈門大学
電子科技大学
河海大学
山東師範大学
上海外国語大学
広東外語外貿大学

バングラデシュ

ダッフォディル・インターナショナル大学
ノース・サウス大学
ジャハンギルナガル大学

フィリピン

国立プラカン大学
ホーリーエンジェル大学
フィリピン工科大学
フィリピン大学バギオ校
エンデランカレッジ
デ・ラ・サール大学

ブータン

ブータン王立大学
ロイヤル ティンブー カレッジ

ベトナム

ベトナム国家大学ハノイ
貿易大学
ハノイ工科大学
ベトナム国家大学ホーチミン市
人文社会科学大学
FPT大学
ダナン大学
ベトナム国家大学ホーチミン市
工科大学

マレーシア

マレーシア科学大学
ケバングサン(マレーシア国民)大学
マレーシア・ババン大学
マレーシア工科大学
マレーシア国際イスラム大学
テイラー大学
マラヤ大学
ヘルプ大学

エクアドル

グアヤキル・サンチャゴ・カトリック大学
エスベシアリダデス・エスピリトゥ・サント大学

ブラジル

サンパウロ州立パウリスタ大学
サンパウロ大学
州立カンピーナス大学

メキシコ

モレロス州立自治大学
メキシコ州立自治大学
モンテレイ大学
モンテレイ工科大学

ミャンマー

ヤンゴン大学
ヤンゴン工科大学

台湾

国立台湾大学
静宜大学
正修科技大学
国立高雄科技大学
国立台湾師範大学
国立高雄大学
玄奘大学
国立成功大学
淡江大学
中原大学
国立宜蘭大学
文藻外語大学
亞洲大学
高苑科技大学
国立中央大学
實踐大学
東吳大学

アメリカ

ハワイ大学マノア校
ウェブスター大学
ブリッジウォーター州立大学
セント・マイケルズ大学
ミズーリ大学セントルイス校
サウスカロライナ大学
北アリゾナ大学
カリフォルニア州立大学フラトン校
パデュー大学ノースウェスト校
ヴァルドスタ州立大学
サザン・ニュー・ハンプシャー大学
チャタム大学
ミズーリ大学カンザスシティ校
北イリノイ大学
ニューヨーク州立大学アルバニー校
ハワイ大学ヒロ校
ジョージメイソン大学
ハワイ大学カピオラニ校

カナダ

アルゴマ大学
セネカ・カレッジ
メディシン・ハット・カレッジ

ヨーロッパ

55

アジア

95

北アメリカ

21

南アメリカ

9

オセアニア

9

中東

2

アフリカ

2

エジプト

カイロ大学

アラブ首長国連邦

エミレーツ・アカデミー
ホスピタリティー・マネジメント

オーストラリア

オーストラリア国立大学
アデレード大学
ニューカッスル大学

ニュージーランド

ヴィクトリア大学ウェリントン校
オタゴ大学
オタゴポリテクニク
オークランド工科大学
クライストチャーチ工科大学
ネルソン・マルボロ工科大学

トルコ

チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学

南アフリカ共和国

ステレンボシュ大学

20 Kansai University

Kansai University 21

国際教育

本学では、外国人留学生および海外留学をめざす日本人学生に対し、英語で教養および専門知識を学ぶ「グローバル・フロンティア科目」の設置をはじめとして、双方が共に学び交流する環境を整備しています。さらに、外国人留学生に対しては、外国人留学生科目を提供するほか、日本語・日本文化教育プログラムとして、「進学コース(留学生別科)」「語学留学コース」「短期語学研修コース」「学習支援コース」を展開し、さまざまなニーズに対応しています。また、本学学生に対しては、半年～1年の交換派遣留学や認定留学、春・夏季休業期間中の語学セミナーなどを実施し、実践的な留学の機会を提供しています。



国際研究

本学では海外の研究者との交流を支援するため、研究者交流協定(覚書)を締結している大学との間で「交換研究者」を受入および派遣しています。また、本学の教育・研究の一層の向上を図るため、海外で活躍する研究者を招へいする「外国からの招へい研究者」の制度も設けています。

南千里国際プラザ

2012年4月、新たな国際化構想の一環として、留学生別科の教育施設と留学生寮からなる南千里国際プラザを開設しました。このプラザのめざすところは、世界中から参加する留学生と関西大学の一般学生の交流に留まらず、南千里の地域住民の方々と交えた「共に学ぶ異文化交流」です。



留学生別科では、本学をはじめ日本の大学・大学院への進学をめざす留学生が日本語・日本文化等を学び、留学生寮では、大学の一般学生と留学生が共に生活し、互いの国際感覚を磨いています。

国際協力サービスラーニングプログラム

本学では、国際協力について体系的に学ぶ「国際協力サービスラーニングプログラム」を提供しています。「国際協力サービスラーニング」とは、教科カリキュラムと関連したサービス(ボランティア)活動を通じて当該コミュニティのニーズを満たし、学生のコンピテンシー、即ち「高い成果を生み出すための行動特性」を涵養する社会貢献型の体験学習です。

このプログラムは国際協力に関する講義科目と、実習科目「国際協力ボランティア実習」で構成されます。これらを連関させた国際貢献型体験学習の中で、学生は国際協力の仕組みを学び、これからの参加型国際協力と国内の多文化共生社会の創造に資する持続可能な循環型国際協力システムを考察することができます。

海外拠点

本学では、ベルギー・ルーヴン大学内の「日本・EU研究センター」(2006年)をはじめ、中国・復旦大学内に「上海オフィス」(2011年)、同・北京外国語大学内に「北京オフィス」(2012年)、タイ・チュラロンコン大学内に「バンコクオフィス」(2011年)、台湾・正修科技大学内に「台湾オフィス」(2012年)を開設し、国際教育・研究の推進をサポートしています。



日本・EU研究センターがあるルーヴン大学図書館

Em-Air Room Mi-Room

異文化コミュニケーションを通じた学びの空間。

Mi-Room (Multilingual Immersion Room)は、異文化コミュニケーションを実体験し、留学を視野に入れた外国語運用能力向上の機会をキャンパスライフに取り込むことができる学習スペースです。ここでは、担当教員やGTA (Global Teaching Assistantの略称で、主に海外からの留学生が担当) が英語をはじめ、さまざまな外国語学習や文化交流のプログラムを実施しており、学生一人ひとりの目標に合わせて参加することができます。留学生との交流やさまざまな国の学生同士で行うグループワークなど、自由なスタイルでの活用が可能です。開室時間中は自由に入出りができ、留学・海外協定校の資料や過去に海外留学を経験した学生の体験記、語学学習関係図書も配架していますので、留学前後の準備・学習にも活用できるようになっています。



ケー・コイル KU-COIL

世界中の学生とバーチャルに共修するKU-COILの取り組み。

本学では、2014年に新しいカタチの国際交流学習であるCOIL(海外とのオンライン協働学習: Collaborative Online International Learning)を全国に先駆けて導入しました。

COILは、情報通信技術(ICT)ツールを用いて、海外の大学に属する学生達とバーチャルに連携しながら、さまざまな分野のプロジェクトに取り組む新しい教育実践の方法です。COILという教育実践を通して、国内にしながら異なる文化背景を持った海外の学生と協働学習を行うことで、異文化理解や異文化間コミュニケーションスキルを培うことができます。そして多彩な授業科目にこの方法を取り入れることによって、英語をはじめとする外国語で、海外のピアと意思疎通する経験を在学中に多く積むことができます。さらに、COILの根幹となる協働学習タスクでは、学生中心のプロジェクト型学習(PBL)を海外の学生と行うことで、メディア・リテラシーやチームワーク・スキルなどのさまざまなスキルを同時に養います。

本学では、KU-COILの導入以来、世界10以上の国・地域、20以上の大学のネットワークを活用し、学問分野を問わず多様な授業を展開してきました。今後も世界で活躍する優れた人材の育成や日本人学生の海外交流を促進する国際教育および国際学習ツールとして取り組んでいきます。



関西大学校友会

全国で活躍する卒業生48万人のネットワーク。

校友の母校愛と社会での活躍が大学の発展を支えています。

関西大学校友会は、学校法人関西大学が設置する高等学校以上の卒業生を会員とし、会員相互の交流と母校の発展に寄与することを目的とした大学の外郭団体です。卒業生は延べ48万人を超え、海外支部を含む140以上の地域支部をはじめ、職域会や同期会等は100団体以上を数えます。本部事務局を校友・父母会館内に置き、大学の経営に参画する校友評議員の候補者推薦、機関誌「關大」の年6回(奇数月)発行、大学から委託を受けて行う校友住所のデータ管理業務、「関西大学校友カード」発行等の事業を通じ、母校と校友、校友相互の連絡機関として重要な役割を果たしています。一方、学生に対しては校友会独自の「学生振興支援基金規程」を制定し、学生への功績表彰制度・給付育英奨学金制度・学生助成制度を設け、学術振興、スポーツ・文化などの課外活動を支援しています。また、母校愛にあふれた校友が社会の各界各層で活躍することにより、関西大学の評価をいっそう高め、多くの校友が母校への物心両面にわたる積極的な支援活動を展開する中核として、「活力ある校友会」は躍進する関西大学を支え、歩みを共にしています。



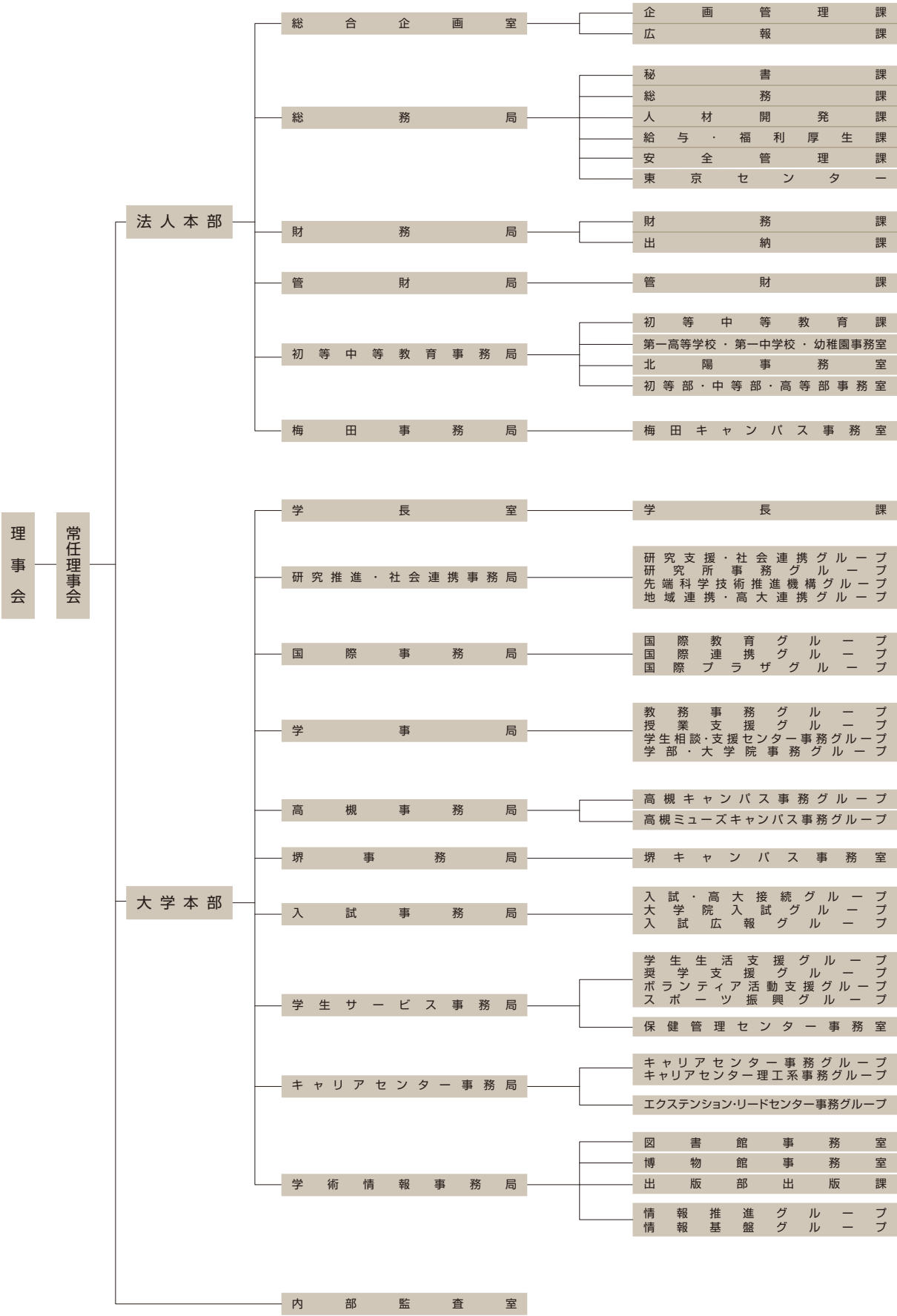
関西大学教育後援会

全在学生の父母・保護者により組織されている教育後援会。
多彩な活動で「大学と家庭の心のかけ橋」を築いています。

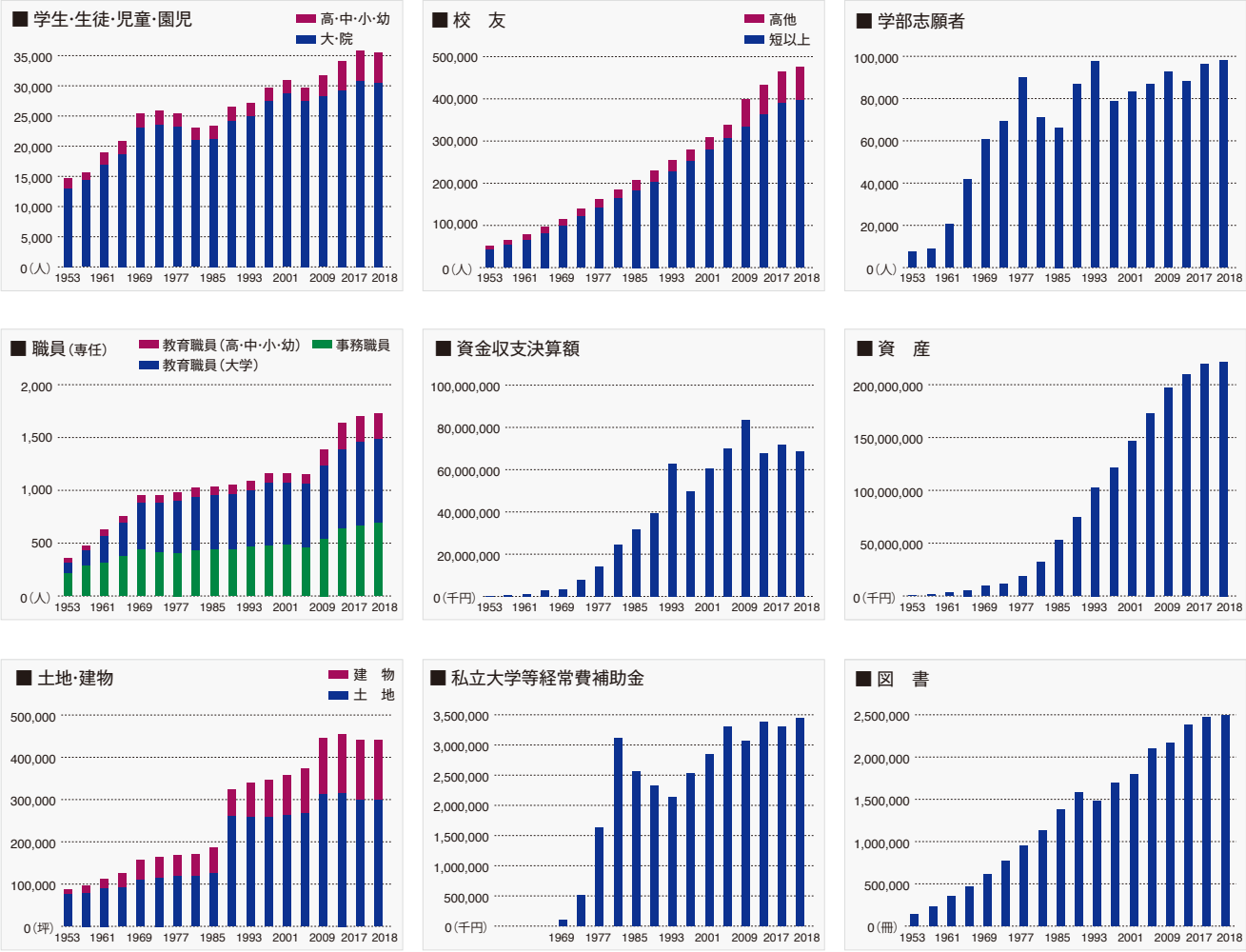
関西大学教育後援会は、1947年に発足した在学生の父母(または保護者)によって組織されている大学の外郭団体です。「大学と家庭の心のかけ橋」として、千里山キャンパスでの総会・学部別教育懇談会や就職説明懇談会、全国主要都市における地方教育懇談会を実施しています。また、会報『葦』や新入生父母・保護者向け大学ガイド『みちるべ』の発行のほか、セミナーハウスの利用受付、就職や課外活動などへの支援といった、学生生活をサポートする多様な活動によって、大学と家庭の連携を図り、有為な人材育成拠点づくりに寄与しています。さらに、生涯学習にも目を向け、教育後援会が運営する飛鳥文化研究所・植田記念館と奈良県明日香村との共催による「飛鳥史学文学講座—やまと・あすか・まほろば塾—」を開催しています。父母・保護者との対話を通じて大学教育への理解を促し、一貫して家庭教育の重要性を訴え続け、2017年には創立70周年を迎えました。教育後援会の活動が、大学と家庭のつながりを強くし、実りある学生生活や教育研究の充実・発展へと結びついています。



2020年4月1日現在



関西大学規模比較表（1953～2018）



年度	学生・生徒・児童・園児		校 友		学部志願者 ^{※2}	教育職員 (専任)		事務職員 (専任および 専任に準ずる者)	資金収支 決算額	資 産	土地・建物		私立大学等 経常費補助金	図 書
	高・中・小・幼 ^{※4}	大・院 ^{※4}	高他	短以上 ^{※1}	一	高・中・小・幼 ^{※4}	大学 ^{※3}	一	一	一	土 地	建 物	一	一
2018	4,950人	30,635人	75,111人	397,799人	98,094人	242人	804人	680人	68,287,202千円	226,338,896千円	296,946坪	140,865坪	3,440,549千円	2,499,375冊
2017	4,917人	30,766人	74,152人	390,535人	96,520人	240人	798人	661人	71,890,145千円	225,658,179千円	296,572坪	141,351坪	3,269,760千円	2,474,808冊
2013	4,792人	29,263人	70,557人	361,819人	87,846人	237人	760人	633人	67,368,097千円	209,224,912千円	315,038坪	139,197坪	3,385,625千円	2,384,458冊
2009	3,348人	28,382人	67,256人	333,196人	92,560人	147人	695人	541人	83,452,728千円	197,199,421千円	312,744坪	132,887坪	3,060,252千円	2,165,453冊
2005	2,296人	27,444人	32,894人	305,783人	86,831人	90人	607人	455人	70,280,651千円	173,088,984千円	269,033坪	103,785坪	3,307,045千円	2,098,824冊
2001	2,279人	28,668人	31,119人	278,336人	83,127人	88人	585人	485人	60,773,301千円	146,700,913千円	263,276坪	93,631坪	2,847,089千円	1,801,239冊
1997	2,166人	27,509人	29,329人	251,300人	78,616人	86人	600人	471人	49,786,731千円	121,340,392千円	260,193坪	87,045坪	2,528,109千円	1,694,060冊
1993	2,158人	24,942人	27,536人	226,655人	97,670人	86人	537人	462人	62,967,331千円	102,777,192千円	259,530坪	79,003坪	2,136,268千円	1,477,740冊
1989	2,273人	24,155人	25,671人	203,509人	86,884人	87人	523人	439人	39,333,881千円	74,480,728千円	260,643坪	62,645坪	2,320,148千円	1,578,101冊
1985	2,191人	21,218人	23,782人	183,102人	66,271人	87人	514人	436人	31,906,912千円	52,906,901千円	125,981坪	60,435坪	2,555,668千円	1,380,710冊
1981	2,144人	20,957人	21,959人	163,768人	70,912人	87人	512人	429人	24,632,873千円	31,841,887千円	120,864坪	50,854坪	3,111,070千円	1,130,621冊
1977	2,196人	23,171人	20,219人	142,551人	89,817人	82人	493人	406人	14,170,179千円	18,678,340千円	120,723坪	49,087坪	1,634,137千円	946,658冊
1973	2,304人	23,524人	18,391人	120,560人	69,292人	73人	472人	411人	7,866,754千円	11,619,904千円	114,998坪	48,230坪	514,178千円	771,942冊
1969	2,253人	23,103人	16,504人	98,925人	60,687人	69人	446人	436人	3,490,814千円	9,399,128千円	110,683坪	46,626坪	106,651千円	613,710冊
1965	2,161人	18,645人	14,592人	81,280人	41,783人	66人	318人	372人	2,714,617千円	5,436,911千円	93,673坪	32,509坪	—	467,303冊
1961	2,048人	16,991人	12,968人	65,857人	20,536人	56人	259人	312人	1,238,692千円	2,894,962千円	90,294坪	22,487坪		356,050冊
1957	1,344人	14,324人	11,340人	53,428人	8,837人	42人	148人	284人	597,938千円	1,585,485千円	81,125坪	15,859坪		236,292冊
1953	1,625人	13,008人	10,175人	42,074人	7,601人	42人	98人	215人	348,786千円	580,684千円	77,864坪	9,903坪		142,512冊

※1) 大学予科卒を含む ※2) 併設校からの進学および推薦入学を含み、当該年度に実施した入試の人数を示す。 ※3) 1957年までは短期大学を含む ※4) 2018年5月1日現在

キャンパス案内

千里山キャンパス

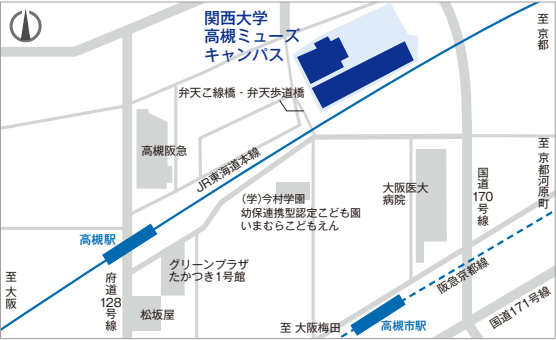


学 部：法学部、文学部、経済学部、商学部、社会学部、政策創造学部、
外国語学部、システム理工学部、環境都市工学部、化学生命工学部
大学院：法学研究科、文学研究科、経済学研究科、商学研究科、
社会学研究科、理工学研究科、外国語教育学研究科、
心理学研究科、東アジア文化研究科、ガバナンス研究科、
法科大学院、会計専門職大学院
併設校：関西大学第一中学校・第一高等学校、関西大学幼稚園

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
TEL. 06-6368-1121 (大代表)

■ 阪急電鉄千里線「関大前」駅下車、すぐ（正門までは徒歩約5分）

高槻ミュージズキャンパス

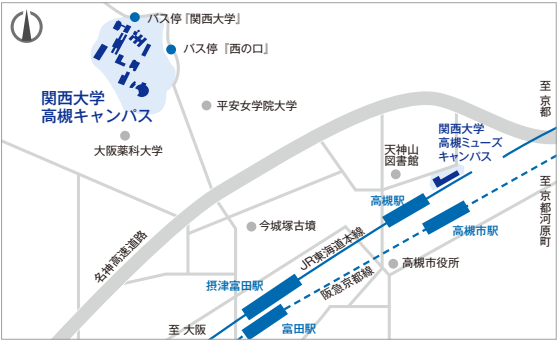


学 部：社会安全学部
大学院：社会安全研究科
併設校：関西大学初等部・中等部・高等部

〒569-1098 大阪府高槻市白梅町7-1
TEL. 072-684-4000

■ JR京都線「高槻」駅から徒歩約7分
■ 阪急電鉄京都線「高槻市」駅から徒歩約10分

高槻キャンパス



学 部：総合情報学部
大学院：総合情報学研究科

〒569-1095 大阪府高槻市霊仙寺町2-1-1
TEL. 072-690-2161

■ JR京都線「摂津富田」駅または「高槻」駅下車。高槻市営バス「関西大学」「萩谷」「萩谷総合公園」行きのいずれかに乗車し「関西大学」停留所下車（所要時間約20分）
■ 阪急電鉄京都線「富田」駅または「高槻市」駅で下車し、それぞれJR京都線「摂津富田」駅（所要時間約5分）、「高槻」駅（所要時間約10分）まで徒歩。高槻市営バス「関西大学」「萩谷」「萩谷総合公園」行きのいずれかに乗車し、「関西大学」停留所下車（所要時間約20分）

※高岳館、グラウンド、アイスアリーナへは「西の口」下車

堺キャンパス



学 部：人間健康学部
大学院：人間健康研究科

〒590-8515 大阪府堺市堺区香ヶ丘町1-11-1
TEL. 072-229-5022

■ 南海電鉄高野線「浅香山」駅下車、すぐ
■ 阪堺電気軌道阪堺線「高須神社」駅から徒歩約10分

北陽キャンパス



併設校：関西大学北陽中学校・北陽高等学校

〒533-0006 大阪府大阪市東淀川区上新庄1-3-26
TEL. 06-6328-5964

■ 阪急電鉄京都線「上新庄」駅から徒歩約8分
■ 阪急電鉄千里線「下新庄」駅から徒歩約13分
■ JRおおさか東線「JR淡路」駅から徒歩約15分

梅田キャンパス



〒530-0014 大阪府大阪市北区鶴野町1-5
TEL. 06-4256-6410

■ 阪急電鉄「大阪梅田」駅から徒歩約5分
■ JR「大阪」駅から徒歩約8分

路線図

関西大学へお越しの際は、
公共の交通機関をご利用ください。



南千里国際プラザ



別 科：関西大学留学生別科

〒565-0855 大阪府吹田市佐竹台1-2-20
TEL. 06-6831-9180

■ 阪急電鉄千里線「南千里」駅から徒歩約5分